

ふくさき町の教育

福崎町教育委員会
事務事業点検・評価報告書
(令和6年度事業分)

令和7年11月

福崎町教育委員会

＜目 次＞

I	はじめに	1
II	実施方針	2
III	事務事業点検・評価表	3
学校教育課		
(1)	就学前の子育て支援事業	4～20
(2)	教育委員会事業	21～25
(3)	学校関係事業	25～38
(4)	給食センター事業	73～76
社会教育課		
(5)	社会教育事業	38～43、55～58
(6)	芸術・文化事業	43～47、50～54
(7)	図書館事業	48～50
(8)	文化財事業	59～68
(9)	社会体育事業	54、55、68～72、76～83
IV	学識経験者の意見	84
V	参考資料	91
■令和6年度福崎町教育の努力目標		
■福崎町教育委員会事務事業評価委員要綱		

I はじめに

平成19年6月に「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」が改正（平成20年4月1日施行）され、「教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに、公表しなければならない。」とされました。

福崎町教育委員会では、法律の趣旨に基づき、効果的な教育行政の推進に資するとともに、町民への説明責任を果たしていくために、令和6年度における教育委員会事務の管理及び執行の状況の点検及び評価を実施し、その結果を報告書としてまとめました。

町民の皆様にこの報告書をご覧いただき、教育委員会の取り組みに対するご意見をお寄せいただくことで、よりよい福崎町教育の実現を目指していきたいと考えています。

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第二十六条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第一項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第四項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たつては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

II 実施方針

教育委員会の事務の管理・執行の状況の点検及び評価を実施するに当たり、次のとおり実施方針を定めます。

1 趣 旨

福崎町教育委員会は、毎年、教育委員会の事務の管理・執行の状況（教育長及び事務局の事務執行を含む。）について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出し、公表することにより、効果的な教育行政の推進に資するとともに、町民への説明責任を果たしていきます。

2 実施方法

- (1) 点検及び評価は、学校教育課及び社会教育課が所管している事業を対象とします。
- (2) 点検及び評価は、毎年度1回実施するものとし、前年度の事務・事業の進捗状況をチェックするとともに、それぞれの課題や今後の取組の方向性を示すものとします。

ア 評点の視点

各事業について、次の視点で考察及び評価しました。

区分	視 点
必要性	町民のニーズや社会情勢に適合しているか。
効率性	実施方法などについて成果に見合ったコストになっているか。
公平性	事業の透明性や事業の周知は適正か。
実績評価	達成度と投入費用は妥当か。

イ 評価点数基準

評価は、下記基準の点数により評価し、点数化しました。

	よい（高い）	ふつう（やや高い）	やや悪い（やや低い）	悪い（低い）
点数	10・9	8・7・6	5・4・3	2・1

ウ 総合評価

教育委員会としての達成状況等により総合評価としました。

評価（点数）	基 準
A (40~32)	十分な成果が見られる。
B (31~22)	おおむね成果が見られる。
C (21~13)	成果も見られるが、今後検討し、さらなる取り組みが必要である。
D (12~ 4)	成果が見られない。

- (3) 教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るため、「外部委員」を置き、その意見を聴取します。外部委員は、教育に関し学識経験を有する方など外部の方々の中から、教育委員会が委嘱し、任期は1年とします。なお、初年度はその年度末とします。また、再任は妨げないものとします。
- (4) 教育委員会は、事務・事業の進捗状況等を取りまとめ、有識者の意見を聴取した後、点検及び評価を行います。
- (5) 教育委員会において点検及び評価を行った後、その結果をとりまとめた報告書を町議会へ提出し、報告書は町民に公表するものとします。
- (6) 教育委員会は、点検及び評価の結果を踏まえて、次年度以降の事務・事業に取り組むものとします。

3 実施時期

前年度分の事務・事業を取りまとめた評価シートをもとに当該年度に実施します。

III 事務事業点検・評価表

3. 民 生 費

住民生活に密着したサービスを提供するために要した経費で、保健、医療、福祉と連携し、高齢者や障がい者等「住民誰もが心豊かに安心して暮らせるまちづくり」に努めました。今後も少子高齢化や共生社会に対応するため実情に応じた福祉サービスを行い、誰もがより良い日常生活を継続できるよう支援していきます。

また、認定こども園では、子どもの健やかな育ちと豊かな人間形成が可能となるよう、就学前教育・保育の充実を図りました。

防犯面では、福崎町防犯指導委員会によるパトロールやキャンペーンを実施し、住民の防犯意識の高揚を図り、安全安心に暮らせるまちづくりの推進に努めました。

1次評価：A

(2) 児童福祉費

項	目	予算現額	支出済額	不 用 額
2.児童福祉費	1.児童福祉総務費	60,325,000円	59,269,715円	1,055,285円

児童の健全な育成のため、障がいのある児童に対して年金や就学援助金を支給したほか、母子・父子家庭にも就学援助金を支給しました。また、赤ちゃん誕生祝記念品として絵本等を贈呈しました。

子ども子育て支援事業では、令和7年度から令和11年度を計画期間とする「福崎町第3期子ども・子育て支援事業計画」を策定しました。

総合計画**基本計画-施策の構成		
まちづくりの柱<章>	施 策	町の取り組み
Ⅲ 誰もが健やかに暮らせるまちづくり	1 子育て支援の充実	①妊娠・出産・育児の支援
総 ◆ 取組内容	不妊治療費や妊婦健診などの助成	情報提供と相談体制の充実・支援
Ⅲ 誰もが健やかに暮らせるまちづくり	1 子育て支援の充実	②地域全体で支える子育ての推進
総 ◆ 取組内容	家庭、地域、行政などの連携	地域ぐるみでの子育てサポート体制づくり
Ⅲ 誰もが健やかに暮らせるまちづくり	1 子育て支援の充実	③子育てしやすいまちの実現
総 ◆ 取組内容	安心して子育てができるサービスの提供	多様なニーズに対応した子育てサービスの充実

事業名／子ども子育て支援事業(学校教育課)

総合計画**基本計画-施策の構成		
まちづくりの柱<章>	施 策	町の取り組み
Ⅱ 学びを充実し文化を育むまちづくり	2 地域と連携した教育	②青少年の健全育成
総 ◆ 取組内容	家庭の教育力向上、子育て支援や家庭教育の啓発	
Ⅲ 誰もが健やかに暮らせるまちづくり	1 子育て支援の充実	②地域全体で支える子育ての推進
総 ◆ 取組内容	企業への啓発（子育てしやすい雇用環境）	
Ⅲ 誰もが健やかに暮らせるまちづくり	1 子育て支援の充実	③子育てしやすいまちの実現
総 ◆ 取組内容	多様なニーズに対応した子育てサービスの充実	

◆事業内容(目的・必要性)

令和7年度から令和11年度までの5年間を計画期間とする「福崎町第3期子ども・子育て支援事業計画」を策定しました。計画の策定にあたっては、福崎町子ども・子育て会議を開催し協議するとともに、パブリックコメントを実施しました。

幼稚教育・保育に係る公定価格の改定に対応するため、子ども・子育て支援システムの改修を行いました。

病気やけがで集団生活ができない児童と保護者への支援を行うため、神崎郡3町で病児保育事業を実施しました。

◆事業の成果

■福崎町子ども・子育て会議

○委員構成 15人

- ・子どもの保護者 5人
- ・子ども・子育て支援に関する事業に従事する者 5人
- ・子ども・子育て支援に関し学識経験のある者 5人

○会議開催 3回（令和6年8月29日、令和6年11月6日、令和7年1月27日）

■子ども子育て支援システム改修等

○業務の内容

子ども子育て支援新制度システム公定価格マスタデータ設定委託料 165,000円

○業務委託業者 (株)さくらケーシーエス

■計画策定業務

○福崎町第3期子ども・子育て支援事業計画策定業務委託 2,263,800円

○業務委託業者 (株)ジャパンインターナショナル総合研究所

■病児保育事業

○実施場所 神崎郡病児病後児保育施設（ケアステーションかんざき2階）

○利用者の状況 延べ8人

○病児保育事業負担金 2,569,000円

□効果・達成度

「福崎町第3期子ども・子育て支援事業計画」を策定し、令和7年度から5年間の子育て支援施策の目標を設定することができました。また、子ども・子育て会議の開催やパブリックコメントの実施により、さまざまな意見を聴きながら計画策定をすすめることができました。

子ども子育て支援システムの改修を行うことで、幼児教育・保育に係る適正な予算執行を行いました。

神崎郡3町で病児保育事業を実施し、病児等の保育を行うことで子育て家庭の支援につなげることができました。

□課題・改善

計画の内容や進捗について、子ども・子育て会議の場において点検・見直しを行いながら、設定した目標に沿って子育て支援事業の推進に努めます。

(単位：円)

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳			
		国 県 支 出 金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
13,604,000	13,505,888	2,781,827		2,200,000	8,524,061

1次評価：B

項	目	予 算 現 額	支 出 濟 額	不 用 額
2.児童福祉費	3.保育所費	5,208,000円	4,839,570円	368,430円

福崎町に住所を有し、保護者の就労等の事情により町外の保育所を利用した児童の費用について、該当す

る私立保育所、私立小規模保育事業所の設置者に対して支出した費用です。

事業名／町外私立保育所委託事業、町外小規模保育所委託事業

◆事業内容(目的・必要性)

施設の利用を委託した町外私立保育所、町外小規模保育事業所へ委託料等を支払いました。

◆事業の成果

■町外私立保育所

(単位：円)

施設名	金額
東栗栖保育園	1,176,430
くりのみ保育園	693,670
白鳥南保育園	764,260
計	2,634,360

■町外小規模保育事業所

(単位：円)

施設名	金額
愛の光ナーサリー	2,205,210

□効果・達成度

町外私立保育所、町外小規模保育事業所へ委託料等を支払い、各施設の適正な運営と保育の充実に寄与しました。

□課題・改善

今後も町外私立保育所等への適正な予算執行に努めます。

■保育所等年間延べ利用児童数

(単位：人)

施設名	定員	利用延べ児童数	利用状況			
			0歳児	1・2歳児	3歳児	4歳以上児
たつの市 東栗栖保育園	50	9	0	0	9	0
宍粟市 くりのみ保育園	80	6	0	2	0	4
姫路市 白鳥南保育園	60	6	0	3	0	3
加西市 愛の光ナーサリー	12	12	0	12	0	0
合計		33	0	17	9	7

(単位：円)

予算額	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
5,208,000	4,839,570	3,204,664		75,000	1,559,906

1次評価：A

項目	目	予算現額	支出済額	不 用 額
2.児童福祉費	4.認定こども園費	783,619,000円	776,632,598円	6,986,402円

町内及び町外の認定こども園を利用し、就学前教育・保育を希望する児童のために要した費用です。

主な支出は、職員及び会計年度任用職員の人事費、私立認定こども園及び町外公立認定こども園への施設

型給付費、事務費等です。

総合計画**基本計画-施策の構成		
まちづくりの柱《章》	施 策	町の取り組み
II 学びを充実し文化を育むまちづくり	2 地域と連携した教育	②青少年の健全育成
総 ◆ 取組内容	家庭の教育力向上、子育て支援や家庭教育の啓発	
III 誰もが健やかに暮らせるまちづくり	1 子育て支援の充実	②地域全体で支える子育ての推進
総 ◆ 取組内容	地域ぐるみでの子育てサポート体制づくり	
III 誰もが健やかに暮らせるまちづくり	1 子育て支援の充実	③子育てしやすいまちの実現
総 ◆ 取組内容	安心して子育てができるサービスの提供	

事業名／認定こども園管理費

◆事業内容(目的・必要性)

入園児童が心身ともに健やかに成長できるよう、快適で安全な認定こども園の運営、管理を行いました。教育・保育の質の向上をめざし、関係機関主催の研修会への参加や職員の計画による園内研修等を実施しました。

また、児童の安全対策と快適な保育環境づくりのため、施設・設備等の修繕、清掃及び害虫駆除、樹木の剪定等を行いました。

保育業務支援システムを活用し、保護者の利便性の向上と職員の業務負担の軽減に努めました。

◆事業の成果

■園医等報酬

・内科医	782,400円	・歯科医	590,120円	・薬剤師	168,000円
------	----------	------	----------	------	----------

■修繕関係

園	名	金額(円)
田 原 幼 儿 園		563,200
八 千 種 幼 儿 園		543,895
福 崎 幼 儿 園		786,350
高 岡 幼 儿 園		276,100
合 計		2,169,545

■委託料関係

区 分	金額(円)
清掃委託料	440,000
植木剪定等委託料	417,480
電気設備管理委託料	753,720
警備委託料	554,400
消防設備点検委託料	71,280
保育用務等業務委託料	1,892,085
合 計	4,128,965

■ I C T化推進事業関係

ネットワーク回線利用料	454,080円
保育業務支援システム利用料	1,807,080円

□効果・達成度

保育教諭の適正な配置や施設管理を行い、児童が安全で快適な園生活を送ることができました。

園内研修では、職員間で積極的な意見交換を行い、教育・保育の質の向上につながりました。

保育業務支援システムを活用することで、職員の業務の軽減や効率化を図ることができました。また、保護者の利便性の向上にもつながりました。

□課題・改善

低年齢児からの保育ニーズに対応するため、保育教諭の確保に努めます。今後も児童の安全を確保しながら、健全な認定こども園の運営に努めます。

(単位：円)

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般 財 源
160,189,000	159,712,176	7,030,000		11,859,698	140,822,478

事業名／認定こども園事業費

◆事業内容(目的・必要性)

認定こども園ごとの教育・保育目標により、入園児童の健康と安全を確保しつつ創意工夫を加えながら、年齢に応じた教育・保育を実施しました。

保護者の多様なニーズに対応するため、午後7時までの延長保育事業や、保護者の都合により緊急的・一時的に家庭で保育できない1号認定子どもの一時預かり（幼稚園型）事業及び在宅児童の一時預かり（一般型）事業を実施しました。

子育て世帯の経済的負担の軽減を図るため、兵庫県が実施する「ひょうご保育料軽減事業」に基づき、一定の基準に該当する世帯の保育料を助成しました。

◆事業の成果

■延長保育事業利用状況（年間延べ利用者数）

(単位：人)

田 原	八千種	福 崎	高 岡	姫 学	サルビア	合 計
262	152	120	7	862	242	1,645

■一時預かり事業（一般型）利用状況（年間延べ利用者数）（単位：人）

田 原	高 岡	姫 学	サルビア	合 計
33	41	2	129	205

■一時預かり事業（幼稚園型）利用状況（年間延べ利用者数）

(単位：人)

田 原	八千種	福 崎	高 岡	姫 学	サルビア	合 計
23	24	87	0	102	489	725

■保育材料代

園 名	金 額 (円)
田 原 幼 児 園	1,563,371
八 千 種 幼 児 園	650,374
福 崎 幼 児 園	1,164,544
高 岡 幼 児 園	181,046
合 計	3,559,335

■給食材料代

園 名	金 額 (円)
田 原 幼 児 園	3,424,218
八 千 種 幼 児 園	1,229,448
福 崎 幼 児 園	2,381,218
高 岡 幼 児 園	519,296
合 計	7,554,180

■保育用備品購入費

園名	金額(円)
福崎幼稚園	354,400
高岡幼稚園	145,600
合計	500,000

■ひょうご保育料軽減事業

対象児童数 28人

保育料軽減事業補助金 2,643,600円

□効果・達成度

延長保育事業や一時預かり事業（一般型・幼稚園型）を実施することにより保護者のニーズに対応し、子育て支援につなげることができました。

利用者負担額の一部を助成することで、より多くの世帯の経済的負担の軽減を図ることができました。

□課題・改善

引き続き、延長保育事業や一時預かり事業等の子育て支援事業の周知に努め、保護者にとって利用しやすい環境づくりに努めます。

■認定こども園年間延べ利用児童数

(単位：人)

施設名	定員	利用延べ児童数	利用状況			
			0歳児	1・2歳児	3歳児	4歳以上児
田原幼稚園	240	2,214 (56)	72 (0)	501 (29)	509 (19)	1,132 (8)
八千種幼稚園	87	716 (9)	16 (9)	184 (0)	144 (0)	372 (0)
福崎幼稚園	183	1,341 (46)	68 (9)	313 (6)	310 (0)	650 (31)
高岡幼稚園	45	161 (3)	23 (0)	66 (3)	36 (0)	36 (0)
姫学こども園	75	952 (24)	45 (0)	295 (12)	264 (0)	348 (12)
サルビアこども園	105	1,310 (135)	57 (12)	391 (42)	251 (36)	611 (45)
小計	735	6,694 (273)	281 (30)	1,750 (92)	1,514 (55)	3,149 (96)
姫路市	萩学園	305	60	0	12	36
	姫路日ノ本短期大学付属幼稚園	175	84	0	24	24
	三恵城山こども園	115	7	7	0	0
	飾東保育園	150	1	0	0	0
	豊富台保育園	65	12	0	0	0
	瑠璃こども園	250	4	0	0	2
加西市	幼保連携型認定こども園とみた	140	12	0	0	12
	多門こども園	65	2	0	0	1
市川町	屋形こども園	80	36	0	12	12
	いちかわ西こども園	90	3	0	0	0
	いちかわ東こども園	170	65	10	15	24
朝来市	生野こども園	47	8	8	0	0
たつの市	揖西東こども園	120	1	0	0	0
小計		295	25	63	111	96
合計		6,989 (273)	306 (30)	1,813 (92)	1,625 (55)	3,245 (96)

※()内は他市町からの受託児で外数

(単位：円)

予算額	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
22,929,000	22,805,791	1,837,300		3,324,707	17,643,784

事業名／園児送迎バス運行事業

◆事業内容(目的・必要性)

送迎を希望する園児の保護者の負担軽減を図るため、マイクロバスの運行を行いました。

◆事業の成果

主な支出は、マイクロバス運転手及び添乗員に係る報酬、マイクロバスの維持管理に要した費用です。

■マイクロバス利用者数 (単位：人)

田 原 幼 児 園	2
福 崎 幼 児 園	5
姫 学 こ ど も 園	2
サルビアこども園	3
合 計	12

□効果・達成度

ニーズのある家庭に対し、よりきめ細やかに対応し、園児の安全な送迎の確保と保護者の負担軽減を図ることができました。

□課題・改善

朝夕各1便ずつの運行で町内6園を効率的に巡回し、園児の送迎を行っています。今後も園児の安全な送迎の確保と保護者の負担軽減を図ります。

(単位：円)

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源
5,060,000	4,826,591			257,600	4,568,991

事業名／私立認定こども園運営事業、町外公立認定こども園委託事業

◆事業内容(目的・必要性)

私立認定こども園及び町外公立認定こども園へ施設型給付費を支払いました。

また、町内私立認定こども園の特別保育等に係る補助金交付を行い、教育・保育の充実を図りました。

◆事業の成果

■町内私立認定こども園給付費 (単位：円)

	金 額
姫 学 こ ど も 園	117,003,650
サルビアこども園	150,139,690
合 計	267,143,340

■町内私立認定こども園補助金

(単位：円)

	姫学こども園	サルビアこども園
調理員補助	4,652,336	0
パン代補助	20,385	41,025
特別保育等補助金	3,393,969	5,109,838
特別保育料	121,500	574,600
障害児保育補助	883,200	1,766,400
保育体制強化事業補助金	0	1,852,040
保育施設等への一時支援金事業補助金	150,000	210,000
給食費等無償化事業補助金	165,300	220,310
子育て支援カウンセラーモデル事業補助金	0	192,000
合計	9,386,690	9,966,213

■町外私立認定こども園給付費

(単位：円)

	金額
萩学園	4,473,430
姫路日ノ本短期大学付属幼稚園	6,695,292
三恵城山こども園	1,350,130
飾東保育園	37,980
豊富台保育園	2,438,780
瑠璃こども園	246,800
幼保連携型認定こども園とみた	1,108,530
多聞こども園	235,540
屋形こども園	2,932,290
合計	19,518,772

■町外公立認定こども園給付費

(単位：円)

	金額
いちかわ西こども園	171,270
いちかわ東こども園	4,464,600
生野こども園	1,532,460
揖西東こども園	57,980
合計	6,226,310

□効果・達成度

私立認定こども園及び町外公立認定こども園に対して施設型給付費を支払い、各施設の適正な運営と教育・保育の充実に寄与しました。

□課題・改善

今後も私立認定こども園等への適正な予算執行に努めます。

(単位：円)

予算額	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
318,153,000	312,241,325	223,897,650		696,100	87,647,575

1次評価：B

項	目	予算現額	支出済額	不 用 額
2. 児童福祉費	5. 子育て支援施設費	30,202,000 円	29,958,527 円	243,473 円

子育て支援センターと子育て学習センターでは、子育て中の親子が気軽に集い、交流できる場を提供しました。また、子育てに関する相談や情報提供を行うことにより、子育ての孤立化や負担感の軽減を図り、子どもや子育て家庭が安心して健やかに暮らせるよう支援しました。

主な支出は、会計年度任用職員に係る人件費及び事務費等です。

総合計画**基本計画-施策の構成		
まちづくりの柱《章》	施 策	町の取り組み
Ⅱ 学びを充実し文化を育むまちづくり	2 地域と連携した教育	②青少年の健全育成
総 ◆ 取組内容	家庭の教育力向上、子育て支援や家庭教育の啓発	
Ⅲ 誰もが健やかに暮らせるまちづくり	1 子育て支援の充実	③子育てしやすいまちの実現
総 ◆ 取組内容	安心して子育てができるサービスの提供 多様なニーズに対応した子育てサービスの充実	子育て支援施設の適切な運営

□めざそう値

第6次総合計画めざそう値	R2	R3	R4	R5	R6	目標(R10)
子育て支援事業参加者数	8,918	8,889	7,928	9,001	10,697	10,000

事業名／子育て支援センター運営事業（福崎幼稚園内）

◆事業内容(目的・必要性)

福崎町の子育て支援の拠点として、子育て支援情報の収集を行い、町広報誌、ホームページ等による情報提供を実施しました。保健センターとの連絡を密に行い、産前から施設を利用してもらうよう呼びかけを行いました。また“おひさまらんど”は、子育て中の親子が集える場として開放し、子育ての孤立化や負担感の軽減を図りました。

◆事業の成果

■子育て支援センター事業年間延べ利用者数

おひさまらんど	すきっぷひろば	その他の事業	合 計
4,646人	375人	164人	5,185人

■子育て相談件数 476件

■地域支援活動（すきっぷひろば）

親子でふれあうあそびのひろばを実施しました。

実施月	実 施 場 所
5月～2月	八千種研修センター（8回）、保健センター（5回）、文化センター（3回）

■その他の事業

実施月	事 業 内 容
6月	子育て講座「リトミックあそび」
7月	個別相談日
9月	個別相談日
12月	子育て講座「離乳食の話」
1月	個別相談日
3月	子育て講座「コンサート」

□効果・達成度

保健センターとの連絡を密にし、4か月健診時に事業の周知を行うことで新たな来所者が増え、子育て中の親子の交流が広がりました。

専門の相談員による個別相談日を年3回設定し、子育て中の親子の気持ちに寄り添い、悩みを共有することができました。

□課題・改善

今後も、子育て支援施設の拠点として関係機関と連携をとりながら、子育て中の親子が気軽に集い、語り合い、交流できる環境づくりに努めます。

(単位：円)

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳			
		国 県 支 出 金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
8,763,000	8,621,261	5,176,000			3,445,261

事業名／西部子育て学習センター運営事業（文化センター内）

◆事業内容（目的・必要性）

西部子育て学習センター“ともだちひろば”を子育て中の親子の集いの場として提供しました。

「子育て講座」では、乳幼児期の子育てについての講演会等を開催しました。また、月に1回専門相談員による子育て相談を実施しました。子育てグループ活動では、育ちあうなかまづくりの育成支援を行いました。

◆事業の成果

■西部子育て学習センター事業年間延べ利用者数

ともだちひろば	子育てグループ活動	その他の事業	合 計
2,631人	852人	209人	3,692人

■子育て相談件数 30件

■子育てグループ

- ・3グループ37組89人の親子が参加
- ・グループごとに年間15回活動を実施

■その他の事業

実施月	事業内容
5月	子育て講座「今、さらに早寝・早起き・朝ごはん」
7月	子育て講座「人形劇」
10月	子育て講座「親子うんどうあそび」

事 業 名	実施状況
0歳児（乳児）の会	10月から毎月1回 年6回

□効果・達成度

37組の子育て中の親子が年間15回の活動に参加され、季節ごとのあそびやおもちゃづくり等を通して、親子のふれあいの場を提供するとともに、親同士の出会いの場、悩みを共有する場として子育てを応援できました。

□課題・改善

今後も、子育て中の親子が集い、育ちあうなかまづくりの育成支援を行うとともに、学びの場・安らぎの場・子育て中の親子の心のよりどころとして、身近な施設となるよう努めます。

(単位：円)

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般 財 源
6,317,000	6,259,321	1,598,000		3,400,000	1,261,321

事業名／東部子育て学習センター運営事業（田原幼稚園内）

◆事業内容(目的・必要性)

東部子育て学習センター“にこにこひろば”を子育て中の親子の集いの場として提供し、子育て講座の開催や親子遊び、製作遊びなどの事業を定期的に実施しました。また、家族で参加する機会を設け、父親の積極的な子育て参加を促しました。

◆事業の成果

■東部子育て学習センター事業年間延べ利用者数

にこにこひろば	製作あそび	そ の 他 の 事 業	合 計
1,367人	135人	318人	1,820人

■子育て相談件数 60件

■製作あそび

事 業 名	内 容	実 施 日
作って遊ぼう	親子での製作活動	第3木曜日 年10回

■その他の事業

実施月	事業内容
6月	おもちゃ作り
7月	ちょきちょきぺったん！（手形アートのカレンダー作り）
8月	家族で楽しむ川遊び
9月	子育て講座「歯のおはなし」
10月	いもほり
11月	子育て講座「親子ヨガ」
12月	ちょきちょきぺったん！（クリスマスの製作）
1月	子育て講座「親子体育あそび」
2月	牛乳パックの小物入れ作り
3月	成長の記録ノート作り

□効果・達成度

各月の実施事業に多くの子育て親子の参加があり、知識や情報の提供ができました。家族参加の事業では、母親だけでなく、父親や祖父母の参加もありました。

□課題・改善

今後も、学びの場・安らぎの場・子育て中の親子の心のよりどころとして、身近な施設となるよう努めます。また、家族とのふれあいを大切にし、父親の積極的な子育て参加を促していく、「子どもの育ち」を支援していきます。

(単位：円)

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
2,354,000	2,330,985	1,086,000			1,244,985

1次評価：A

項	目	予 算 現 額	支 出 濟 額	不 用 額
2.児童福祉費	6.学童保育費	32,118,000円	31,041,523円	1,076,477円

共働き家庭など、学校から帰宅しても誰もいない留守家庭の小学生の保護・健全育成を図ることを目的に、「福崎西部学童保育園」と「福崎東部学童保育園」において学童保育を行いました。年齢の異なった子どもたちが家庭的な雰囲気の中で、宿題をした後、自主活動を通じて仲良く協力しながら放課後を過ごしました。土曜日は「福崎東部学童保育園」において、センター方式により学童保育を実施しました。放課後子ども教室では、地域の大人との交流を通じ、子どもの居場所づくりに努めました。

総合計画**基本計画-施策の構成		
まちづくりの柱《章》	施 策	町の取り組み
Ⅲ 誰もが健やかに暮らせるまちづくり	1 子育て支援の充実	③子育てしやすいまちの実現
総 創 ◆ 取 組 内 容	安心して子育てができるサービスの提供	子育て支援施設の適切な運営

□めざそう値

第2期総合戦略アクションプランKPI	R2	R3	R4	R5	R6	目標(R6)
学童保育利用者数	222	275	283	304	323	350

事業名／福崎西部学童保育園運営事業

◆事業内容(目的・必要性)

福崎小学校及び高岡小学校の留守家庭の児童が、福崎小学校北校舎の教室で宿題及び自主活動などを主として行い、放課後を過ごしました。

土曜日の利用を希望する児童については、センター方式により福崎東部学童保育園で保育を実施しました。放課後児童支援員認定資格研修等への参加により、指導員の資質向上に努めました。

◆事業の成果

福崎西部学童保育園の運営（月曜日から金曜日）に要した費用です。主な支出は、学童保育の指導員に係る報酬です。

■学童保育園利用状況

(単位：人)

	平均利用者数	最大利用者数
4月	58(61)	67(72)
5月	54	66
6月	56	63
7月	56(65)	63(75)
8月	(61)	(74)
9月	55	64
10月	52	58
11月	48	55
12月	47(43)	53(45)
1月	45(34)	50(34)
2月	44	50
3月	45(41)	52(46)

※ () 内は長期休業中の利用人数

効果・達成度

留守家庭の小学生の健全育成及び安全の確保に努めることができました。

課題・改善

引き続き、安全で快適な保育環境を整えるとともに、指導員の人材確保と研修等による資質向上に努めます。

(単位：円)

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
14,750,000	14,024,525	2,762,000		4,162,000	7,100,525

事業名／福崎東部学童保育園運営事業**◆事業内容(目的・必要性)**

田原小学校及び八千種小学校の留守家庭の児童が、田原小学校体育館の北側にある福崎東部学童保育園において宿題及び自主活動などを行い、放課後を過ごしました。土曜日はセンター方式により町内4小学校の児童を対象に学童保育を実施しました。また、長期休業期間中には八千種小学校の教室でも学童保育を実施しました。

放課後児童支援員認定資格研修等への参加により、指導員の資質向上に努めました。

◆事業の成果

福崎東部学童保育園の運営（月曜日から土曜日）に要した費用です。主な支出は、学童保育の指導員に係る報酬です。

■学童保育園利用状況

(単位：人)

	東部学童保育専用施設		八千種小学校教室	
	平均利用者数	最大利用者数	平均利用者数	最大利用者数
4月	82(78)	100(83)	(7)	(8)
5月	82	95		
6月	79	99		
7月	73(80)	91(98)	(17)	(24)
8月	(69)	(83)	(16)	(24)
9月	75	85		
10月	69	81		
11月	66	75		
12月	64(40)	75(44)	(9)	(9)
1月	63(47)	74(47)	(2)	(2)
2月	62	70		
3月	61(67)	64(74)	(11)	(13)

※()内は長期休業中の利用人数

□効果・達成度

留守家庭の小学生の健全育成及び安全の確保に努めることができました。

□課題・改善

引き続き、安全で快適な保育環境を整えるとともに、指導員の人材確保と研修等による資質向上に努めます。

(単位：円)

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源
16,924,000	16,632,764	4,065,000		6,350,000	6,217,764

事業名／田原放課後子ども教室事業

◆事業内容(目的・必要性)

田原小学校の1年生を対象に、田原小学校の教室において5月～3月の毎週月曜日（学校が休みの日などを除く。）に開催し、宿題や絵本の読み聞かせなどの活動をし、他の学年の児童の下校時刻と合わせることによって、帰宅時の安全を確保するとともに、地域における子どもの居場所づくりに努めました。

◆事業の成果

主な支出は、指導員の報酬です。

■利用状況（実利用人数）（単位：人）

4月	—
5月	21
6月	19
7月	20
8月	—
9月	17
10月	20
11月	18
12月	17
1月	18
2月	20
3月	19
計	189

□効果・達成度

指導員として地域の方の協力を得ることで、地域における子どもの居場所づくりにつながりました。

また、子どもたちにとっては地域の大人とのふれあいの場を持つことができました。

□課題・改善

限られた時間の中で、宿題をしたり、絵本や折り紙を楽しんだりしながら、児童に寄りそった支援に努めます。

（単位：円）

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳			
		国 県 支 出 金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
196,000	158,907	90,000			68,907

事業名／八千種放課後子ども教室事業

◆事業内容（目的・必要性）

八千種小学校の1年生を対象に、八千種小学校の教室において5月～3月の毎週火曜日（学校が休みの日などを除く）に開催し、宿題や折り紙などの活動をしながら、他の学年の児童の下校時刻と合わせることによって、帰宅時の安全を確保するとともに、地域における子どもの居場所づくりに努めました。

◆事業の成果

主な支出は、指導員の報酬です。

■利用状況（実利用人数）（単位：人）

4月	—
5月	17
6月	17
7月	17
8月	—
9月	16
10月	17
11月	17
12月	16
1月	17
2月	17
3月	17
計	168

□効果・達成度

他学年の児童の下校時刻に合わせて帰宅することで、低学年の児童の帰宅途中の安全確保に努めることができたほか、指導員として地域の方の協力を得ることで、地域における子どもの居場所づくりにつながりました。

また、子どもたちにとっては地域の大人とのふれあいの場を持つことができました。

□課題・改善

限られた時間の中で、宿題をしたり、絵本や折り紙を楽しんだりしながら、児童に寄りそった支援に努めます。

（単位：円）

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般 財 源
248,000	225,327	126,000			99,327

9. 教育費

教育費は、教育総務費、小学校費、中学校費、社会教育費、保健体育費に要した経費です。

本町では、教育の基本方針及び長期目標である「志」をみんなで育む 福崎の教育～こどもの心に「灯」をともす 学校教育 町民みんなの 学びたいことが学べる 社会教育～」を基調に、町民みんなが学ぶ福崎町の教育をめざして、知育・德育・体育・食育の4育を基盤とし、夢に挑戦する子どもたちの「生きる力」を育む教育に取り組んできました。子どもたち一人ひとりの持つよさや可能性を伸ばし、自らの個性がより發揮できるように、倫理観、社会性、創造性、国際性を養う教育を推進しました。また、社会生活上のルールの大切さや自己責任の自覚、他者を思いやる心の涵養、ふるさとや伝統文化を大切に思う気持ちを育むこと等、「心の教育」の充実に努めました。

総合計画**基本計画-施策の構成		
まちづくりの柱<章>	施 策	町の取り組み
II 学びを充実し文化を育むまちづくり	1 魅力ある学校づくり	①学校教育の充実
総 ◆ 取組内容	特別支援教育の充実・不登校児童生徒への支援	実践的な指導力の向上、児童・生徒の学力の定着
II 学びを充実し文化を育むまちづくり	1 魅力ある学校づくり	②教育環境の整備
総 ◆ 取組内容	学校施設等長寿命化計画に基づく長寿命化	学校の実情に応じた安全体制の推進
II 学びを充実し文化を育むまちづくり	1 魅力ある学校づくり	③情報教育の推進
総 ◆ 取組内容	GIGAスクール構想を核とする情報教育の推進	ICT機器の活用に向けた情報提供や研修の推進
II 学びを充実し文化を育むまちづくり	1 魅力ある学校づくり	④豊かな心・健やかな身体の育成
総 ◆ 取組内容	いじめの未然防止や早期発見、早期対応	
II 学びを充実し文化を育むまちづくり	2 地域と連携した教育	①地域とともにある学校づくり
総 ◆ 取組内容	学校・家庭・地域が一体となった学校づくりの推進	巡回パトロール等、子どもが安全で安心して学べる環境づくり
II 学びを充実し文化を育むまちづくり	2 地域と連携した教育	②青少年の健全育成
総 ◆ 取組内容	青少年の成長支援、相談支援、情報提供	
II 学びを充実し文化を育むまちづくり	2 地域と連携した教育	③地域資源をいかした人材育成
総 ◆ 取組内容	ふるさと意識の醸成や豊かな人間性を身につける取り組み	

1次評価：A

(1) 教育総務費

項	目	予算現額	支出済額	不 用 額
1. 教育総務費	1. 教育委員会費	1,246,000円	1,127,440円	118,560円

地方教育行政全般の運営推進に要した経費で、主な支出は、委員4人にかかる報酬、教育長交際費です。

事業名／教育委員会事業

◆事業内容(目的・必要性)

教育委員会において、教育行政の基本方針や重要事項を審議し、幅広い分野の多様な地域住民の要望に的確に対応しました。きめ細やかな教育行政が主体的かつ積極的に展望できるよう、教育上の諸問題について協議しました。

教育委員会の会議は、定例会12回を開催しました。

協議内容及び件数は、次のとおりです。

- ・条例、規則等の制定、改廃に関する事項 6件
- ・教育関係予算に関する事項 2件
- ・その他協議事項について 7件
- ・その他報告・連絡事項について 85件

また、町長部局と連携を図り民意を反映させた教育行政を推進するための総合教育会議への出席、民生

主任児童委員との意見交換会を実施するとともに、学校訪問や学校行事の視察、各種研修会へ参加しました。

◆事業の成果

不登校の現状とその対応、生徒指導・生徒理解に対する取組等、教育諸課題並びに情勢をより早く察知し検討するとともに、個々の教育委員が情報収集に努め、協議検討を重ねました。

□効果・達成度

適正な事務処理が遂行できました。予算の適正な執行に努めました。

□課題・改善

さらなる自己研さん及び的確な情報収集に努めます。

(単位：円)

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源
1,246,000	1,127,440				1,127,440

1次評価：A

項	目	予 算 現 額	支 出 濟 額	不 用 額
1. 教育総務費	2. 事務局費	90,560,000円	89,646,192円	913,808円

教育長、職員及び会計年度任用職員に係る人件費、心を開く親の会講師謝礼金、日本スポーツ振興センター負担金及び各種大会等参加費補助金等が主な支出です。

事業名／事務局一般事務費

総合計画**基本計画-施策の構成			
まちづくりの柱《章》	施 策	町の取り組み	
Ⅱ 学びを充実し文化を育むまちづくり	1 魅力ある学校づくり	①学校教育の充実	
総 ◆ 取組内容	特別支援教育の充実・不登校児童生徒への支援	実践的な指導力の向上、児童・生徒の学力の定着	
Ⅱ 学びを充実し文化を育むまちづくり	1 魅力ある学校づくり	②教育環境の整備	
総 ◆ 取組内容	学校施設等長寿命化計画に基づく長寿命化	社会情勢の変化に即応した施設の改修	
Ⅱ 学びを充実し文化を育むまちづくり	1 魅力ある学校づくり	④豊かな心・健やかな身体の育成	
総 ◆ 取組内容	思いやりに満ちた人間関係の構築	運動週間の定着と体力・運動能力の向上	

◆事業内容(目的・必要性)

教育行政の円滑な運営を図りました。

◆事業の成果

不登校支援員等の配置により、児童生徒の問題解決に早期に対応するとともに、ICT支援員を配置し、学校でのICT活用を支援しました。

教育支援委員会を開催し、支援を要する児童生徒の実態把握及び特別支援学級の入級判定を行いました。学力向上委員会では、学力向上に取り組みました。

学齢簿の編製業務等に係る基幹系業務システムクラウド利用料として、4,453,680円を支払いました。

□効果・達成度

不登校児童生徒に対するきめ細かな対応並びに特別支援学級への適正な入級判定ができました。

□課題・改善

教育情勢の変化に的確に対応し、さらなる教育行政の充実に努めます。

(単位：円)

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳			
		国 県 支 出 金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
20,086,000	19,803,297	3,018,000			16,785,297

事業名／学校保健安全事業

◆事業内容(目的・必要性)

学校保健安全法に基づき、児童・生徒及び教職員の健康管理に万全を期しました。

◆事業の成果

健康は教育の基本であるという理念のもと、児童・生徒及び教職員の健康保持・増進を図り、円滑な教育活動を展開するため、各種検診を実施しました。

■教職員検診費

学校名 検診名	福 崎 小	高 岡 小	田 原 小	八 千 種 小	福 崎 西 中	福 崎 東 中	計	
	人	円	人	円	人	円	人	
胃部レントゲン	0	0	2	7,480	2	7,480	1	3,740
心 電 図	18	23,760	9	11,880	27	35,640	10	13,200
血 液	18	44,550	9	22,275	27	66,825	10	24,750
H b A 1 c	18	7,920	9	3,960	27	11,880	10	4,400
胸部撮影	15	21,450	9	12,870	27	38,610	8	11,440
眼 底	18	21,780	9	10,890	27	32,670	10	12,100
尿 検 査	18	1,980	9	990	27	2,970	10	1,100
診 察	18	11,880	9	5,940	27	17,820	10	6,600
聴 力	18	1,980	9	990	27	2,970	10	1,100
大腸がん	14	14,630	9	9,405	24	25,080	10	10,450
P S A	1	1,760	0	0	1	1,760	1	0
腹 囲	4	1,100	4	1,100	12	3,300	5	1,375
計		152,790		87,780		247,005		95,755
								106,480
								136,400
								826,210

■児童・生徒検診費

	福 崎 小	高 岡 小	田 原 小	八 千 種 小	福 崎 西 中	福 崎 東 中	計	
	人	円	人	円	人	円	人	
心臓検査	64	136,320	6	12,780	81	172,530	17	36,210
尿 検 査	383	37,917	36	3,564	471	46,629	118	11,682
計		174,237		16,344		219,159		47,892
								165,579
								247,257
								870,468

■ストレスチェック委託料 14,586円

労働安全衛生法に基づき、教職員の心の健康のため、公立学校共済組合員146人、公立学校共済組合員以外の者1人がストレスチェック（オンライン診断）を受けました。

□効果・達成度

各検診を受診する機会を確保し、児童・生徒及び教職員の積極的な健康保持・増進を図ることができました。

□課題・改善

教育情勢の変化に的確に対応し、さらなる教育行政の充実に努めます。

(単位：円)

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般 財 源
2,147,000	1,893,172				1,893,172

事業名／学校関係事業**◆事業内容(目的・必要性)**

日本スポーツ振興センター負担金、各種大会等参加費補助金に係る事業です。

◆事業の成果

■各種大会等参加費		(単位：円)
学校名	大会名	派遣費用
福崎小	兵庫リレーカーニバル	22,652
	兵庫県小学生陸上競技交流大会	12,352
	兵庫県小学生陸上競技大会	173,552
	日本陸上競技選手権	500
田原小	兵庫リレーカーニバル	17,282
	兵庫県小学生陸上競技交流大会	22,452
	兵庫県小学生陸上競技大会	16,152
八千種小	兵庫リレーカーニバル	4,352
	兵庫県小学生陸上競技交流大会	4,752
	兵庫県小学生陸上競技大会	8,752
福崎西中	兵庫リレーカーニバル	56,020
	中播地区中学校総合体育大会	1,080,400
	中播地区中学校新人大会	647,860
	近畿中学校総合体育大会	15,010
	兵庫県中学校総合体育大会	74,140
	NHK全国学校音楽コンクール兵庫県大会	90,000
	兵庫県合唱コンクール	117,560
	関西合唱コンクール	140,620
	神崎郡中学校親善大会	183,700
福崎東中	兵庫県中学生陸上競技記録会	145,040
	中播地区中学校総合体育大会	1,680,851
	中播地区中学校新人大会	614,099
	神崎郡中学校親善大会	105,820
	兵庫県中学校新人大会	101,960
	計	5,335,878

□効果・達成度

児童及び生徒の活発な体育活動等を支援することができました。

□課題・改善

体育活動のみならず、文化活動についても積極的な活動を支援します。

(単位：円)

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般 財 源
6,794,000	6,763,758			675,510	6,088,248

事業名／国際教育推進事業

総合計画**基本計画-施策の構成			
まちづくりの柱《章》	施 策	町の取り組み	
II 学びを充実し文化を育むまちづくり	6 多文化共生社会の推進	①多様な価値観を認めあうひとづくり・まちづくりの推進	
総 創 ◆ 取 組 内 容	多言語情報ツールや相談体制の充実	多様な価値観を認めあうひとづくり・まちづくり	
II 学びを充実し文化を育むまちづくり	6 多文化共生社会の推進	②交流事業の推進	
総 創 ◆ 取 組 内 容	言語や文化の講座や教室の開催	町民と外国人の交流事業の推進	

◆事業内容(目的・必要性)

小中学校において、英語担当教員が行う授業の補助や言語活動における児童生徒に対する指導の補助として、外国語指導助手（A L T）を任用し、外国語国際理解教育を展開しました。

◆事業の成果

A L Tを2人配置し、小中学校の英語教育・国際教育を充実させ、地域の国際化にも有効に活用しました。

□効果・達成度

生きた英語にふれることで児童生徒の英語に対する興味・関心が高まり、充実した国際教育が展開できました。

□課題・改善

A L T等の指導能力をさらに高め、より一層国際教育の充実に努めます。

(単位：円)

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般 財 源
10,207,000	10,131,877				10,131,877

1次評価：A**(2) 小学校費**

項	目	予 算 現 額	支 出 済 額	繰 越 明 許 費	不 用 額
2. 小 学 校 費	1. 学 校 管 理 費	397,924,000円	315,752,668円	21,000,000円	61,171,332円

小学校における義務教育活動の充実と向上を図るために要した経費です。

主な支出は、会計年度任用職員に係る人件費、校医等の報酬、一般・教材事務費、施設管理委託料、土地借上料、備品購入費、負担金等です。

事業名／小学校管理事業、小学校枠外事業

総合計画**基本計画-施策の構成			
まちづくりの柱《章》	施 策	町の取り組み	
II 学びを充実し文化を育むまちづくり	1 魅力ある学校づくり	③情報教育の推進	
総 創 ◆ 取 組 内 容	ICT機器の整備と教育、情報教育の推進		
II 学びを充実し文化を育むまちづくり	1 魅力ある学校づくり	④豊かな心・健やかな身体の育成	
総 創 ◆ 取 組 内 容	思いやりに満ちた人間関係の構築	体育学習や部活動など健やかな身体の育成に努める	

◆事業内容(目的・必要性)

学校教育法に定める目的及び目標達成のための小学校教育を推進しました。

各学校が感染症対策等を徹底しながら、児童の学習保障への取り組みを実施するために必要な一般備品等を購入しました。

◆事業の成果

心身の発達に応じて小学校で実施する教育の目的を達成するため、合理的な運営を行いました。

教育施設の維持管理、教材備品の整備充実及び教育活動の充実向上を図りました。

■学校別児童・教職員数調べ

R 6. 5. 1現在 (単位:人)

学校 \ 学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計	教員	事務職・栄養教諭等
福崎小	64	56	66	62	73	64	385	25	2
高岡小	6	3	10	3	7	7	36	8	3
田原小	81	78	81	77	77	77	471	30	3
八千種小	17	19	15	20	25	23	119	11	2
計	168	156	172	162	182	171	1,011	74	10
令和5年度	155	170	162	183	172	169	1,011	71	10

■小学校別児童数の推移

R 6. 5. 1現在 (単位:人)

学 校 名	R元	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
福崎小学校	434	420	409	413	384	385
高岡小学校	57	49	47	45	37	36
田原小学校	487	482	481	472	471	471
八千種小学校	131	139	137	125	119	119
計	1,109	1,090	1,074	1,055	1,011	1,011

■校医等の報酬

内科医(4人) 2,088,950円 定期健康診断、就学前健康診断他

歯科医(4人) 1,358,760円

眼科医(2人) 700,600円

耳鼻科医(1人) 696,100円

薬剤師(3人) 340,900円 教室の空気環境検査、飲料水の水質検査、食器洗浄検査他

■施設等修繕料

(単位:円)

福 崎 小	高 岡 小	田 原 小	八 千 種 小	計
959,811	409,035	372,653	492,250	2,233,749

■委託料関係

(単位：円)

区分	校名	福崎小	高岡小	田原小	八千種小	計
筆耕委託料		22,938	2,509	23,870	8,243	57,560
立木伐採委託料		0	0	165,000	231,000	396,000
遊具等点検委託料		0	0	0	52,250	52,250
植木剪定等委託料		206,580	149,776	166,340	122,192	644,888
清掃委託料		184,387	33,000	101,200	30,580	349,167
警備委託料		277,200	277,200	277,200	277,200	1,108,800
電気設備管理委託料		204,600	118,800	237,600	191,840	752,840
貯水槽管理委託料		57,200	74,800	99,000	75,900	306,900
給食用昇降機点検委託料		60,500	66,000	66,000	66,000	258,500
消防設備点検委託料		34,815	34,815	34,815	34,815	139,260
プール循環装置点検委託料		33,000	33,000	33,000	33,000	132,000
エレベーター点検委託料		627,000	—	—	—	627,000
電算機器保守管理委託料		175,313	175,312	175,313	175,312	701,250
リソグラフ保守管理委託料		43,626	23,100	64,020	18,150	148,896
小学校体験活動事業委託料		242,000	3,245,246	314,000	152,000	3,953,246
ドメイン管理委託料		1,100	1,100	1,100	1,100	4,400
計		2,170,259	4,234,658	1,758,458	1,469,582	9,632,957

■自然学校推進事業

自然学校は、学習の場を教室から豊かな自然の中へ移し、さまざまな体験活動を通して、自分で考え、主体的に判断し、行動し、よりよく問題を解決する力や、生命に関する畏敬の念、感動する心、ともに生きる心を育むなど、「生きる力」を育成することを目的として実施している県の補助事業です。令和6年度も兵庫県立南但馬自然学校で実施しました。町内全小学校5年生181人が4泊5日（9/16～9/20）の日程で行い、自然観察、昼食作り、制作活動等充実した自然学校を体験しました。主な支出は、バス借上料、施設使用料等です。

■使用料・借上料

学習支援ソフト使用料	3,324,420円
福崎小学校敷地借上料（638.28坪）	1,320,610円
小学校校務用パソコン等借上料	11,526,900円
小学校複合機借上料	1,884,960円

■備品購入関係

一般備品、教材備品等を購入し、各校の教育環境の充実を図りました。また、理科教育設備整備費等補助金を活用して、高岡小学校の理科備品を整備しました。

(単位：円)

区分	校名	福崎小	高岡小	田原小	八千種小	事務局	計
一般備品		257,213	246,587	879,010	252,085	104,940	1,739,835
教材備品		585,092	190,180	821,255	241,100	12,337,479	14,175,106
図書購入費		249,227	149,820	99,715	103,820	—	602,582
計		1,091,532	586,587	1,799,980	597,005	12,442,419	16,517,523

■負担金関係 体験農園学習実施状況

体験学習（いも植え・いも掘り） 1人150円

〃（田植え） 1人150円 （稲刈り） 1人300円

学校名	いも植え (人)	いも掘り (人)	田植え (人)	稲刈り (人)	もち麦種まき (人)	もち麦刈取り (人)	入園料(円)
福崎小	122	121	73	74	58	66	100,600
高岡小	22	22	14	14	—	—	12,900
田原小	78	78	77	78	—	—	58,350
八千種小	19	19	25	24	19	—	21,400
計	241	240	189	190	77	66	193,250

■授業目的公衆送信補償金

ICTを活用した教育での著作物を利用するため、補償金として129,954円を支出しました。

□効果・達成度

適正な事務処理が遂行できました。予算の適正な執行に努めました。

□課題・改善

教育情勢の変化に的確に対応し、さらなる教育行政の充実に努めます。

また、令和7年度も引き続き、徹底した感染症対策を実施し、安全安心な学校生活が送れるよう対応します。

(単位：円)

予算額	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
138,695,000	135,848,135	3,087,354		10,855,000	121,905,781

事業名／小学校施設整備・補修事業

総合計画**基本計画-施策の構成		
まちづくりの柱《章》	施 策	町の取り組み
Ⅱ 学びを充実し文化を育むまちづくり	1 魅力ある学校づくり	②教育環境の整備
総 ◆ 取組内容	計画的な学校施設の長寿命化	

◆事業内容(目的・必要性)

学校施設の補修等に要した経費です。

令和7年度に実施する田原小学校の普通教室増設等改修工事の実施設計を行うとともに、工事費を繰越明許費として令和7年度に繰り越しました。

◆事業の成果

老朽化等による不良箇所の更新及び修繕等を行いました。

■施設修繕料

(単位：円)

学校名	内 容	金 額	各校合計
福崎小	エレベータ部品交換	105,105	669,790
	空調機室外機修繕	217,085	
	体育館LED照明器具取替	347,600	
高岡小	キュービクル内機器更新	93,500	93,500
田原小	手洗場給水配管修繕	539,000	2,004,200
	校舎北西出入口扉修繕	145,200	
	アスレチック修繕	1,320,000	
八千種小	トイレ配管修繕	88,000	88,000
合 計			2,855,490

■業務委託料

(単位：円)

学校名	内 容	金 額	各校合計
福崎小			
田原小	プールサイド補修工事発注支援業務委託	295,900	295,900
八千種小			
田原小	屋外トイレ改修設計変更業務委託	146,850	674,850
	普通教室増設等改修工事実施設計業務委託	528,000	
合 計			970,750

■工事請負費

(単位：円)

学校名	内 容	金 額
福崎小	放送設備更新工事	3,806,000
田原小	屋外トイレ改修工事	7,249,000
八千種小	旧体育館西側法面防草シート設置工事	528,000
合 計		11,583,000

■備品関係

田原小学校 教室間仕切り

297,000円

□効果・達成度

老朽化等により不具合が生じている箇所または生じる恐れのある箇所について、修繕することができます。

□課題・改善

今後も老朽化等による補修の必要な箇所を十分に把握し、計画的な補修事業を展開することにより、引き続き適正な管理運営に努めます。

(単位：円)

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源
37,300,000	15,706,240	2,119,000	3,000,000	1,000,000	9,587,240

事業名／小学校施設長寿命化改良事業【令和5年度から繰越】

◆事業内容(目的・必要性)

福崎町学校施設等長寿命化計画に基づき、小学校の特別教室等に空調設備の設置工事を実施しました。令和元年度に小学校の全ての普通教室に空調設備を設置しましたが、一部の特別教室に設置されていませんでした。今回の工事で全教室に空調設備が整備されました。また、空調設備の設置工事と合わせて、特別教室等の照明LED化工事を実施しました。

◆事業の成果

■業務委託料

(単位：円)

業務名	箇所	内容	金額	受託者
特別教室空調設備等設置工事監理業務委託	福崎小学校、高岡小学校、田原小学校、八千種小学校	4校の特別教室等空調設備等設置に係る工事監理	2,926,000	(株)村上建築設計室

■工事請負費

(単位：円)

工事名	箇所	内容	金額	請負者
特別教室空調設備等設置工事	福崎小学校、高岡小学校、田原小学校、八千種小学校	4校の特別教室等に空調設備等を設置	142,516,000	テラマエ設備工業(株)
八千種小学校周囲フェンス等設置工事	八千種小学校	小学校の周囲にフェンス等を設置	4,037,000	(株)佐治工務店
計			146,553,000	

□効果・達成度

空調設備の設置を行うことで、夏場や冬場の学習活動における児童や教員の身体的な負担を軽減することができました。今回の工事により、町内全小学校の教室、特別教室等に空調設備を設置することができました。

□課題・改善

今後も引き続き、福崎町学校施設等長寿命化計画に基づき、体育館への空調設備の整備を進めていきます。

(単位：円)

予算額	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
207,200,000	149,479,000	42,475,000	106,900,000		104,000

事業名／遠野市友好交流事業

総合計画**基本計画-施策の構成

まちづくりの柱《章》	施策	町の取り組み
Ⅱ 学びを充実し文化を育むまちづくり	8 芸術・文化の振興	④先人の功績顕彰
総◆取組内容	友好都市である遠野市との交流促進	

◆事業内容(目的・必要性)

平成30年度から友好都市提携の教育分野事業として「岩手県遠野市と福崎町の児童交流」を実施しています。令和6年度は第5回目の児童交流を実施しました。

◆事業の成果

8月25日から26日まで、福崎町内小学校6年生15人と引率者5人で民俗学の父・柳田國男の著書『遠野物語』の舞台となった遠野市を訪れ、遠野市の人々の知恵や工夫・努力を体感し、異なる地域の文化や暮らしぶりに触れました。児童たちは、遠野市の施設、名所を巡り、防災をはじめとする市の取組を深く理解し感動を得ました。当初は3日間の日程で計画していましたが、台風10号の影響により2日間に短縮して事業を実施しました。

(単位：円)

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳			
		国 県 支 出 金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
2,070,000	2,066,498			295,755	1,770,743

1次評価：A

項	目	予 算 現 額	支 出 濟 額	不 用 額
2. 小 学 校 費	2. 教 育 振 興 費	8,716,000円	8,466,896円	249,104円

心身に障がいのある児童の教育及び要保護・準要保護児童の扶助に要した経費です。

事業名／小学校教育振興事業、小学校教育振興枠外事業

総合計画**基本計画-施策の構成		
まちづくりの柱《章》	施 策	町の取り組み
Ⅱ 学びを充実し文化を育むまちづくり	1 魅力ある学校づくり	①学校教育の充実
総 ◆ 取組 内 容	特別支援教育の充実	

◆事業内容(目的・必要性)

障がいに応じた教育課程を編成し、教育活動の充実を図りました。

教育の機会均等を保障するため、就学援助を行いました。

◆事業の成果

備品等を充実させ、学級運営の円滑化を図りました。

福崎小 5学級 (知的①②、自閉症・情緒①②、難聴)

高岡小 1学級 (知的)

田原小 4学級 (知的①②、自閉症・情緒①②)

八千種小 1学級 (自閉症・情緒)

■学校別児童数調（特別支援学級）

R 6. 5. 1現在 (単位：人)

校名 \ 学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計
福 崎 小 学 校	6	1	4	5	8	3	27
高 岡 小 学 校	1	0	1	0	0	0	2
田 原 小 学 校	0	5	6	4	4	2	21
八 千 種 小 学 校	0	0	1	0	2	0	3
計	7	6	12	9	14	5	53

■備品購入費

(単位：円)

校名 区分	福崎小	高岡小	田原小	八千種小	計
一般備品	234,850	0	62,700	39,380	336,930
教材備品	224,959	20,350	130,652	11,871	387,832
計	459,809	20,350	193,352	51,251	724,762

■就学援助費支給状況

経済的理由等で就学困難な児童に対して、就学援助を行いました。

扶助内容	援助人数	金額(円)
学用品	136	1,716,295
修学旅行	17	382,370
新入学学用品	17	883,000
給食費	136	2,560,972
P T A会費	95	214,483
卒業アルバム代等費	15	124,666
計	—	5,881,786

□効果・達成度

就学援助により、援助の必要な児童の教育環境を整えることができました。

□課題・改善

さらなる特別支援教育の支援及び就学援助の充実に努めます。

(単位：円)

予算額	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
8,716,000	8,466,896	352,000			8,114,896

1次評価：A

(3) 中学校費

項	目	予算現額	支出済額	不 用 額
3. 中学校費	1. 学校管理費	306,539,000円	241,345,805円	65,193,195円

中学校における義務教育活動の充実と向上を図るために要した経費です。

主な支出は、会計年度任用職員に係る人件費、校医等の報酬、一般・教材事務費、施設管理委託料、備品購入費、負担金等です。

事業名／中学校管理事業、中学校枠外事業

総合計画**基本計画-施策の構成			
まちづくりの柱《章》	施 策	町の取り組み	
Ⅱ 学びを充実し文化を育むまちづくり	1 魅力ある学校づくり	③情報教育の推進	
総 ◆ 取組内容	ICT機器の整備と教育、情報教育の推進		
Ⅱ 学びを充実し文化を育むまちづくり	1 魅力ある学校づくり	④豊かな心・健やかな身体の育成	
総 ◆ 取組内容	思いやりに満ちた人間関係の構築	体育学習や部活動など健やかな身体の育成に努める	

◆事業内容(目的・必要性)

学校教育法に定める目標及び目的達成のための中学校教育を推進しました。

また、両中学校が感染防止対策を徹底しながら、生徒の学習保障への取り組みを実施するために必要な

一般備品等を購入しました。

◆事業の成果

小学校における教育の基礎の上に、心身の発達に応じて中学校で実施する教育の目的を達成するため、合理的な運営を行いました。

無限の可能性を有する生徒たちが、自ら人間性を養うための教育整備と教育活動の充実を図りました。

■学校別生徒・教職員数調べ

R 6. 5. 1 現在 (単位: 人)

校名 \ 学年	1年	2年	3年	計	教員	事務職・栄養教諭等
福崎西中学校	68	99	72	239	25	3
福崎東中学校	102	98	107	307	26	2
計	170	197	179	546	51	5
令和5年度	196	179	174	549	48	5

■中学校別生徒数の推移

R 6. 5. 1 現在 (単位: 人)

学校名	R元	R2	R3	R4	R5	R6
福崎西中学校	216	222	242	249	255	239
福崎東中学校	328	303	284	285	294	307
計	544	525	526	534	549	546

■校医等の報酬

内科医 (2人)	978,780円	定期健康診断他
歯科医 (2人)	643,540円	
眼科医 (2人)	363,850円	
耳鼻科医 (1人)	375,200円	
薬剤師 (2人)	97,400円	教室の空気環境検査、飲料水の水質検査、食器洗浄検査他

■施設等修繕料

(単位: 円)

福崎西中学校	福崎東中学校	計
1,330,634	1,192,103	2,522,737

■委託料関係

(単位：円)

区分	校名	福崎西中	福崎東中	計
筆耕委託料	22,720	12,960	35,680	
ドメイン管理委託料	1,100	1,100	2,200	
施設等点検委託料	111,100	135,850	246,950	
立木伐採委託料	167,200	723,800	891,000	
「トライやる・ウィーク」推進事業委託料	600,000	600,000	1,200,000	
清掃委託料	82,500	82,500	165,000	
警備委託料	277,200	277,200	554,400	
電気設備管理委託料	194,040	194,040	388,080	
貯水槽管理委託料	99,000	110,000	209,000	
給食用昇降機点検委託料	60,500	60,500	121,000	
消防設備点検委託料	38,940	38,940	77,880	
プール循環装置点検委託料	33,000	33,000	66,000	
植木剪定等委託料	247,280	547,000	794,280	
エレベータ一点検委託料	448,800	—	448,800	
電算機器保守管理委託料	177,375	177,375	354,750	
リソグラフ保守管理委託料	63,888	43,626	107,514	
計	2,624,643	3,037,891	5,662,534	

■使用料・借上料

学習支援ソフト使用料	1,836,780円
中学校校務用パソコン等借上料	5,763,780円
中学校複合機借上料	942,480円

■備品購入費関係

一般備品、教材備品等を購入し、各校の教育環境の充実を図りました。また、理科教育設備整備費等補助金を活用して、福崎西中学校の理科備品を整備しました。

(単位：円)

区分	校名	福崎西中学校	福崎東中学校	事務局	計
一般備品	246,708	764,218	34,980	1,045,906	
教材備品	603,765	627,915	270,000	1,501,680	
図書購入費	299,739	299,996	0	599,735	
計	1,150,212	1,692,129	304,980	3,147,321	

■授業目的公衆送信補償金

ICTを活用した教育での著作物を利用するため、補償金として106,524円を支出しました。

□効果・達成度

適正な事務処理が遂行できました。予算の適正な執行に努めました。

□課題・改善

教育情勢の変化に的確に対応し、さらなる教育行政の充実に努めます。

令和7年度も引き続き、徹底した感染症対策を実施し、安全安心な学校生活が送れるよう対応します。

(単位：円)

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源
75,331,000	73,782,628	3,991,000		100,000	69,691,628

事業名／中学校施設整備・補修事業

総合計画**基本計画-施策の構成		
まちづくりの柱<章>	施 策	町の取り組み
Ⅱ 学びを充実し文化を育むまちづくり	① 魅力ある学校づくり	② 教育環境の整備
総 ◆ 取 組 内 容	計画的な学校施設の長寿命化	

◆事業内容(目的・必要性)

学校施設の補修等に要した経費です。

◆事業の成果

老朽化等による不良箇所の更新及び修繕等を行いました。

■施設修繕料

(単位：円)

学校名	内 容	金 額
福崎東中	消火水槽補給水槽修繕	99,726
	建具雨漏れ補修	4,290,000
	体育館アリーナ不良箇所修繕	297,000
計		4,686,726

■業務委託料 中学校建具改修工事設計業務委託

286,000円

■工事請負費

(単位：円)

学校名	内 容	金 額
福崎西中	給食用ダムウェーター更新工事	4,235,000
福崎東中	教室背面整理棚等撤去工事	655,400
合 計		4,890,400

■備品関係

(単位：円)

学校名	内 容	金 額
福崎東中	ユニット畳 1組 (半畳×4枚)	56,000
	ユニット畳 1組 (1畳×2枚)	52,700
	アコーディオンスクリーン 1台	77,450
	学生椅子 2脚	20,900
	学生机 2台	11,220
	2人用ソファ 1台	80,730
	普通教室用ロッカー12台・清掃用具ロッカー3台	871,750
計		1,170,750

□効果・達成度

老朽化等により不具合が生じている箇所または生じる恐れのある箇所について、修繕することができました。

□課題・改善

今後も老朽化等による補修の必要な箇所を十分に把握し、計画的な補修事業を展開することにより、引き続き適正な管理運営に努めます。

(単位：円)

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般 財 源
11,035,000	11,033,876	99,000			10,934,876

事業名／中学校施設長寿命化改良事業【令和5年度から繰越】

◆事業内容(目的・必要性)

福崎町学校施設等長寿命化計画に基づき、中学校の特別教室等に空調設備の設置工事を実施しました。令和元年度に中学校の全ての普通教室に空調設備を設置しましたが、一部の特別教室に設置されていませんでした。今回の工事で全教室に空調設備が整備されました。また、空調設備の設置工事と合わせて、特別教室等の照明LED化工事を実施しました。

◆事業の成果

■業務委託料

(単位：円)

業 務 名	箇 所	内 容	金 額	受 託 者
特別教室空調設備等設置工事監理業務委託	福崎西中学校、福崎東中学校	2校の特別教室等空調設備等設置に係る工事監理	3,443,000	(株)村上建築設計室

■工事請負費

(単位：円)

工 事 名	箇 所	内 容	金 額	請 負 者
特別教室空調設備等設置工事	福崎西中学校、福崎東中学校	2校の特別教室等に空調設備を設置	146,718,000	テラマエ設備工業(株)

□効果・達成度

空調設備の設置を行うことで、夏場や冬場の学習活動における生徒や教員の身体的な負担を軽減することができました。今回の工事により、町内両中学校の教室、特別教室等に空調設備を設置することができました。

□課題・改善

今後も引き続き、福崎町学校施設等長寿命化計画に基づき、体育館への空調設備の整備を進めていきます。

(単位：円)

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般 財 源
213,800,000	150,161,000	45,898,000	103,600,000		663,000

1次評価：A

項	目	予算現額	支出済額	不 用 額
3. 中 学 校 費	2. 教 育 振 興 費	7,860,000円	7,651,382円	208,618円

心身に障がいのある生徒の教育及び要保護・準要保護生徒の扶助に要した経費で、主な支出は、一般事務費、備品購入費及び就学援助費です。

事業名／中学校教育振興事業、中学校教育振興枠外事業

総合計画**基本計画-施策の構成		
まちづくりの柱《章》	施 策	町の取り組み
Ⅱ 学びを充実し文化を育むまちづくり	1 魅力ある学校づくり	①学校教育の充実
総 ◆ 取組内容	特別支援教育の充実	

◆事業内容(目的・必要性)

障がいに応じた教育課程を編成し、教育活動の充実を図りました。

教育の機会均等を保障するため、就学援助を行いました。

◆事業の成果

備品等を充実させ、学級運営の円滑化を図りました。

西中 3学級（知的、自閉症・情緒、肢体）

東中 3学級（知的、自閉症・情緒、難聴）

■学校別生徒数調（特別支援学級）

R 6. 5. 1現在（単位：人）

校名 \ 学年	1年	2年	3年	計
福崎西中学校	0	3	2	5
福崎東中学校	5	3	3	11
計	5	6	5	16

■備品購入費

（単位：円）

区分 \ 校名	福崎西中学校	福崎東中学校	計
一般備品	177,550	187,770	365,320

■就学援助費支給状況

経済的理由で就学困難な生徒に対して就学援助を行いました。

扶助内容	援助人数	金額(円)
学用品	72	1,672,334
修学旅行	24	1,320,512
新入学学用品	18	1,068,980
給食費	67	1,316,029
クラブ活動費	25	261,946
生徒会費	59	50,800
P T A 会費	56	181,800
卒業アルバム代等費	19	162,066
英語・漢字検定料費	9	33,600
計	—	6,068,067

□効果・達成度

就学援助により、援助の必要な生徒の教育環境を整えることができました。

□課題・改善

さらなる特別支援教育の支援及び就学援助の充実に努めます。

(単位：円)

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般 財 源
7,860,000	7,651,382	216,000			7,435,382

1次評価：B

(4) 社会教育費

項	目	予算現額	支出済額	不 用 額
4. 社会教育費	1. 社会教育総務費	57,270,000円	55,968,347円	1,301,653円

生涯学習の充実、家庭や地域社会における教育力の向上に資するための社会教育全般にわたる事業の推進、また、青少年健全育成活動の推進に要した経費で、主な支出として、職員及び会計年度任用職員の人事費、消耗品費、保険料、電算機器借上料、各種団体負担金等に要した経費です。

事業名／社会教育総務一般事務費

総合計画**基本計画-施策の構成		
まちづくりの柱<章>	施 策	町の取り組み
Ⅱ 学びを充実し文化を育むまちづくり	2 地域と連携した教育	②青少年の健全育成
総 ◆ 取組内容	社会全体で青少年の成長の支援に努める	相談支援、情報提供の適切な対応
Ⅱ 学びを充実し文化を育むまちづくり	3 生涯学習の推進	①学びの場の充実
総 ◆ 取組内容	創意工夫にあふれた講座・教室の開設・人材育成	活動拠点となる施設の改修
Ⅱ 学びを充実し文化を育むまちづくり	3 生涯学習の推進	②成果をいかす取り組みの推進
総 ◆ 取組内容	生涯を通して誰もが学習できる場と機会の提供	学んだ成果を発揮できる場の充実
Ⅱ 学びを充実し文化を育むまちづくり	4 人権教育の推進	①人権啓発活動の推進
総 ◆ 取組内容	多様性を認めあいながら共に生きる共生社会の実現	人権相談の実施・周知
Ⅱ 学びを充実し文化を育むまちづくり	4 人権教育の推進	②人権教育の推進
総 ◆ 取組内容	人権に関する知的理解と人権感覚の育成	各自治会での学習会の充実
Ⅱ 学びを充実し文化を育むまちづくり	5 男女共同参画社会の推進	①啓発活動の推進
総 ◆ 取組内容	女性への人権侵害の解消を進める啓発活動の推進	ワーク・ライフ・バランスの取り組みの促進
Ⅱ 学びを充実し文化を育むまちづくり	7 スポーツ・レクリエーション	②ライフステージに応じたスポーツ・レクリエーションの推進
総 ◆ 取組内容	健康づくり・スポーツ・各種イベントの開催による支援	
Ⅱ 学びを充実し文化を育むまちづくり	8 芸術・文化の振興	①多彩な芸術・文化活動の推進
総 ◆ 取組内容	幅広い年代層が参加できる芸術・文化活動の展開	意識の高揚と地域の活性化

◆事業内容(目的・必要性)

社会教育振興のために、行政と地域住民をつなぐ社会教育委員会の開催などを行いました。また、二十歳のつどいや吉識雅夫科学賞を実施し、社会教育の推進に努めました。

◆事業の成果

■社会教育委員会の活動

- ・社会教育委員会（年3回 6/25、12/25、3/28）

社会教育事業の説明や進捗状況の報告、施設の視察等で意見をいただき、今後の事業推進の参考とすることができました。

- ・中播磨・西播磨地区社会教育連絡協議会合同研修会（11/25）

エルデホールにて合同研修会を開催しました。講演を拝聴し社会教育委員の教育力の向上を図りました。

■二十歳のつどい 1月13日 該当者253人中169人の参加

民法の改正により、令和4年4月から成人年齢が20歳から18歳に引き下げられましたが、これまでどおりその年度内に20歳になる方を対象に、「成人式」を「二十歳のつどい」と名称を改め、開催しました。二十歳のつどい代表10人による実行委員会を組織し、企画立案から記念品の選定、式典・アトラクション準備、当日の式典等の進行までを積極的に進めました。式典会場は福崎町エルデホールを使用し、厳粛な雰囲気の中、開催することができました。

- ・第1部 記念式典
- ・第2部 アトラクション（お楽しみ抽選会）

■第17回吉讃雅夫科学賞

吉讃雅夫の顕彰を図るとともに子どもたちの自然科学に対する興味、関心、意欲を高めることを目的として、自然科学分野で優れた研究等を行った児童・生徒に対して賞を贈りました。

- ・小学校低中学年の部
川上 泰正（田原小学校3年生） 作品名「こう時計について」
- ・小学校高学年の部
千家 明里沙（田原小学校6年生） 作品名「未来につなぐ限りある資源」
- ・中学校の部
隅田 悠太（福崎西中学校2年生） 作品名「果物のタンパク質分解酵素の研究～目に見えない不思議な力～」

■吉讃雅夫顕彰ホームページ更新委託料

吉讃雅夫顕彰のためのホームページを、誰もが支障なく閲覧できるように、町公式ホームページへ移行しました。

委託料：1,749,000円（受託業者：キヌテム株）

□効果・達成度

社会教育委員会、二十歳のつどいや吉讃雅夫科学賞をはじめとする社会教育行政の推進に努めました。二十歳のつどいは大人の仲間入りを果たしたという厳粛な雰囲気の中で開催できました。吉讃雅夫科学賞では、各小中学校から合計50作品の提出がありました。作品は、地域住民へのさらなる周知を図るため、図書館において、吉讃雅夫の功績を紹介するコーナーも設け、児童・生徒の研究成果を展示発表しました。

□課題・改善

今後も、社会教育委員と共に地域のニーズを把握し、社会教育の推進を図ります。

（単位：円）

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳			
		国 県 支 出 金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
3,390,000	3,258,834				3,258,834

事業名／地域ぐるみ教育支援事業

総合計画**基本計画-施策の構成		
まちづくりの柱<章>	施 策	町の取り組み
Ⅱ 学びを充実し文化を育むまちづくり	2 地域と連携した教育	①地域とともにある学校づくり
総 ◆ 取 組 内 容	地域スクールヘルパーなどとの連携	

◆事業内容(目的・必要性)

学校・家庭・地域が一体となって、地域ぐるみで子どもを育てることを目的に活動しました。主な取り組みは、土曜英語教室・サマースクール・ウィンタースクール等の教育支援活動、登下校時の見守りや校内巡視の学校支援活動です。

◆事業の成果

■学校支援活動（学校支援地域本部事業）

【ヘルパー活動】

スクールヘルパー … 午前・午後各2～4人ずつによる校内巡視

地域ヘルパー … 登下校時の見守り（1自治会で1～3か所）

	スクールヘルパー	地域ヘルパー
福崎小学校（131人）	毎週火・木曜日	毎週金曜日
高岡小学校（52人）	毎週水曜日	毎週水曜日
田原小学校（127人）	毎週月・水・金曜日	週3回
八千種小学校（71人）	毎週火・木曜日	毎週水曜日

■教育支援活動（地域で“共育”土曜チャレンジ学習事業）

・土曜英語教室 小学3～6年生対象

6月から翌年3月までの土曜日 各校区月1回

会場：各校区県民交流広場

・サマースクール 小学4～6年生対象

7月22日～26日 サルビア会館

7月25日・26日・29日～31日 高岡県民交流広場

7月25日・26日・29日～31日 八千種県民交流広場

7月31日・8月2日・6日～9日 文化センター

・ウィンタースクール 中学3年生対象

10月19日～翌年3月1日の土曜日

会場：文化センター、サルビア会館（会場交互で実施）

□効果・達成度

地域ボランティアの支援を受けて、子どもたちの安全確保に努め、その中で子どもたちと地域ボランティアがふれあうことができました。また、学校の休業日・土曜日に地域の力を借りて学習の場を提供することもできました。

□めざそう値

第6次総合計画めざそう値	R2	R3	R4	R5	R6	目標(R10)
地域・スクールヘルパー登録者数	371	359	398	390	381	400

□課題・改善

継続的な活動にしていくために、各学校へのボランティア制度の周知、ボランティアの確保に努めます。また、学習申込者に継続して参加していただけるように、内容を工夫します。

(単位：円)

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般 財 源
1,025,000	850,111	162,000			688,111

事業名／青少年健全育成関係事業

総合計画**基本計画-施策の構成		
まちづくりの柱《章》	施 策	町の取り組み
Ⅱ 学びを充実し文化を育むまちづくり	② 地域と連携した教育	②青少年の健全育成
総 ◆ 取 組 内 容	社会全体で青少年の成長の支援に努める	相談支援、情報提供などの適切な対応

◆事業内容(目的・必要性)

青少年の健全育成を図るため、青少年問題協議会の開催や啓発リーフレットの作成、青少年補導委員会活動への補助等を行いました。また、人権・青少年健全育成研修会及び人権・青少年健全育成フェスティバルを開催しました。

◆事業の成果

■青少年問題協議会の開催 (年2回 7/10、2/26)

青少年健全育成に関する取り組みや現状・課題についての報告を受け、今後の取り組みの参考となる情報共有を図りました。

■青少年健全育成啓発リーフレットの作成 (各戸、町内店舗等に配布) 6,300枚

■青少年補導委員会活動状況

・定例会 11回

・街頭補導 (下校時巡回、白ポスト回収、長期休暇中巡回等)

年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
街頭補導回数	77回	68回	56回

□効果・達成度

啓発リーフレットの作成や街頭補導等の啓発活動により「地域の子どもは地域で育てる」という意識を高めることができました。

□課題・改善

今後も地域の青少年健全育成委員、青少年補導委員会、学校、各種団体との連携を図り、有害環境の改善や声かけ運動を実施し、子どもたちの健全な成長を支援していきます。子どもの犯罪被害やインターネットの正しい利用に関する情報等について啓発リーフレットを用いて町民へ周知します。

(単位：円)

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般 財 源
3,463,000	3,367,436				3,367,436

事業名／家庭教育学級開設事業

◆事業内容(目的・必要性)

小学校（4校）・中学校（2校）のPTA会員を対象に、各PTA学級の活動を援助し、子育てについ

て保護者の抱える問題や社会的に学ぶ必要のある課題に対応するため、学習会や講演会の開催、また、保護者同士のコミュニケーションを持つ奉仕活動等を1年通して実施しました。

◆事業の成果

■家庭教育学級開設事業（小中学校）

報償費 170,000円

委託料 227,584円

□効果・達成度

各学校において、責任を持って子育てができる資質と実践力を学び、家庭の教育力を高めることができました。

□課題・改善

今後も継続して実施し、保護者の子育て力向上を支援します。

(単位：円)

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般 財 源
480,000	397,584				397,584

事業名／こころ豊かな地域づくり推進事業

総合計画**後期基本計画-施策の構成		
まちづくりの柱《章》	施 策	町の取り組み
Ⅱ 学びを充実し文化を育むまちづくり	② 地域と連携した教育	③ 地域資源をいかした人材教育
総 ◆ 取 組 内 容	ふるさと意識の醸成や豊かな人間性を身につける取り組み	

◆事業内容(目的・必要性)

こころ豊かなまちづくりと人づくりをめざし、福崎町の地域づくり、景観づくりをボランティアの立場から考えて行動しようとする自主的なグループを育成するための事業を実施しました。

◆事業の成果

■福崎町ココロンクラブ

年間9回（4月～11月、3月の毎月1回）役場及びもちむぎのやかた周辺道路の街路樹下の維持管理を行いました。

■みどりのグループ

年間を通じて、毎月2回、町内の4か所の花壇と、県のプランターの維持管理を行いました。

■福崎町手芸ボランティア

趣味の手芸作品を作り販売し、売上金を社会福祉協議会に寄付しました。

■ふくさき日本語ボランティアの会（ふくさき日本語サロン）

町内在住・在勤の外国人を対象に、日本語や生活習慣に関する学習を毎月2回、学習者のレベル別にグループ学習を行いました。

□効果・達成度

活動ができない団体もありましたが、“住みよいまちづくり”をめざして、ボランティア活動に熱心に取り組んでいただき、こころ豊かなまちづくり・人づくりや美しい景観・コミュニティづくりが推進できました。

□めざそう値

第6次総合計画めざそう値	R2	R3	R4	R5	R6	目標(R10)
日本語サロン受講者数（年間）	88	51	246	236	247	500
第2期総合戦略アクションプランKPI	R2	R3	R4	R5	R6	目標(R6)
日本語サロン平均受講者数（1回当たり）	4	3	10	10	10	30

□課題・改善

ふくさき日本語サロンは、新型コロナウイルス感染症の影響で減少していた研修生が戻って来ているため、少しづつ学習者が増えてきています。充分な学習内容を提供できるよう、今後は支援者の増員に努めます。また、ボランティア会員の高齢化が進んでいるため、ボランティアの輪を広めて新規会員の加入促進に努めます。

(単位：円)

予算額	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
309,000	254,497				254,497

1次評価：B

項	目	予算現額	支出済額	不 用 額
4.社会教育費	2.公民館費	7,347,000円	6,929,205円	417,795円

市民が主体的に学習したり、芸術文化に触れるための講座や教室を開講し、生涯学習の場の提供を推進するためには要した経費で、主な支出は、講師等謝礼、業務委託料、各種団体補助金等です。

事業名／公民館運営事業

総合計画**基本計画-施策の構成		
まちづくりの柱《章》	施 策	町の取り組み
Ⅱ学びを充実し文化を育むまちづくり	3 生涯学習の推進	①学びの場の充実
総 ◆ 取組内容	生涯を通して誰もが学習できる機会の提供	講座・教室の開設や人材育成
Ⅱ学びを充実し文化を育むまちづくり	3 生涯学習の推進	②成果をいかす取り組みの推進
総 ◆ 取組内容	学んだ成果を發揮できる場の充実	
Ⅱ学びを充実し文化を育むまちづくり	8 芸術・文化の振興	①多彩な芸術・文化活動の推進
総 ◆ 取組内容	積極的に参加できる芸術・文化活動の展開	芸術・文化にふれる機会の創出

◆事業内容(目的・必要性)

町内における各種文化活動やクラブ活動の活性化を図るとともに、地域住民に活動の場と交流の機会を提供するため、利用者のニーズに応じたよりよい施設運営を行うことを目的としています。

◆事業の成果

■公民館クラブ活動

登録クラブ数及び人数

(令和6年4月1日現在)

登録会場名	登録クラブ数(クラブ)	町内会員数(人)	町外会員数(人)	活動人数(人)
文化センター会場	22	204	62	266
八千種研修センター会場	12	106	17	123
地区会場	21	132	72	204
合計	55	442	151	593

公民館クラブは町内で活動する文化クラブを対象とし、公民館クラブ連絡協議会（事務局：文化センター）に登録した団体で組織されています。各クラブとも熱心に取り組まれ、文化の高揚、研さんの場として施設を利用されました。

■文化功績賞

氏名	所属	分野	内容
藤本 武	八千種小学校6年生	はがき作文	「第57回手紙作文コンクールはがき作文部門小学校6年生の部」文部科学大臣賞
鳴海悠翔	田原小学校5年生	絵手紙	「第57回手紙作文コンクール絵手紙部門小学校4~6年生の部」日本郵便賞
鍛示航成	田原小学校2年生	ピアノ	「第15回日本バッハコンクール全国大会」金賞
井藤一永	田原小学校2年生	絵画	「第84回全国教育美術展」特選
三木夕鶴	田原小学校6年生	絵画	「第84回全国教育美術展」特選
中塚鉄心	八千種小学校6年生	書写	「第92回全国書画展覧会書写の部」特選
今岡拓海	八千種小学校6年生	読書感想画	「第36回読書感想画兵庫県コンクール」優秀賞
駒井葉凪	田原小学校3年生	絵画	「第24回『農』絵画コンクール人物画の部」銅賞
宇崎光廣	八千種小学校3年生	彫塑	「第44回兵庫県児童生徒彫塑展」宍粟市教育委員会賞
杉山凜愛	福崎西中学校2年生	家庭科	「第27回お弁当・おむすびコンテスト」おむすび部門最優秀賞
藤本理子	福崎東中学校2年生	ポスター	「令和6年全国地域安全運動に係る様々ななかたちの防犯ボランティア活動ポスター部門」最優秀賞
堀川陽菜	福崎東中学校2年生	ポスター	「兵庫県暴力団追放モデルポスターコンクール」最優秀賞
藤原心純	香寺高等学校3年生	美術工芸	「第44回近畿高等学校総合文化祭」奨励賞
兵庫県立福崎高等学校 ギター・マンドリン部	福崎高等学校	器楽演奏	「令和6年度全国高等学校ギター・マンドリン音楽コンクール」優秀賞

□効果・達成度

町内外の行事やイベントに積極的に参加するなど、活発にクラブ活動を行うことができました。

□課題・改善

公民館クラブ会員の増加、活性化に向けて若年層の利用促進を支援します。

(単位:円)

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源
1,743,000	1,567,936				1,567,936

事業名／老人大学事業

総合計画**基本計画-施策の構成		
まちづくりの柱《章》	施 策	町の取り組み
II 学びを充実し文化を育むまちづくり	3 生涯学習の推進	①学びの場の充実
総 創 ◆ 取 組 内 容	生涯を通して誰もが学習できる機会の提供	講座・教室の開設や人材育成
III 誰もが健やかに暮らせるまちづくり	5 高齢者福祉の充実	③生きがいづくり・社会参加の促進
総 創 ◆ 取 組 内 容	学習活動や交流活動の機会の充実	

◆事業内容(目的・必要性)

高齢者がともに学び語り合うことで、充実した生きがいのある生活を送るための基盤を確立するとともに、地域活動を実践していく指導者の養成を目的としています。

◆事業の成果

できるだけ多くの方々に学習していただけるよう、町内外を問わず学生を募集しました。

神崎学園と福寿学園の2学園制で運営しました。専門講座では、園芸（野菜・花き）・書道漢字・書道かな・手芸・舞踊・陶芸・史学・IT（入門編・応用編）・健康科学の全9コースの講座を行いました。一般教養講座については、年間10回のさまざまなジャンルの講演等を開催し、10月に親睦運動会、11月に老人大学祭を実施しました。

■受講生の推移

(単位:人)

	令和4年度	令和5年度	令和6年度
神崎学園	112	154	152
福寿学園	175	179	180
合 計	287	333	332

□効果・達成度

老人大学を運営することにより、高齢者の学習の場と交流の機会を提供し、生きがいづくり及び社会参加を促進しました。また、老人大学学生自治会による自主的なクラブ活動等も活発に行われました。

□めざそう値

第6次総合計画めざそう値	R2	R3	R4	R5	R6	目標(R10)
老人大学受講者数	中止	287	287	333	332	350

□課題・改善

今後も継続して生きがいづくりの場の支援を行います。また、受講生のニーズを調査します。

(単位：円)

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般 財 源
3,011,000	2,985,177			162,000	2,823,177

事業名／セミナー事業

総合計画**基本計画-施策の構成					
まちづくりの柱<章>		施 策		町の取り組み	
Ⅱ 学びを充実し文化を育むまちづくり		3 生涯学習の推進		①学びの場の充実	
総	◆ 取 組 内 容	生涯を通して誰もが学習できる機会の提供		講座・教室の開設や人材育成	

◆事業内容(目的・必要性)

地域住民が、こころ豊かで生きがいのある人生を送ることができるよう、サルビアセミナーを実施し、有益な知識や情報を提供することを目的にしています。

◆事業の成果

■サルビアセミナー

開催回数：10回（うち7回公開講座）

学習テーマ：「知っておきたい！終活のあれこれ」「頭脳はつらつ講座」「絵本の癒し効果、そして感性を高めて夢を叶える力に」「筋肉は健康長寿の鍵」「なつかしの歌でリフレッシュと脳トレ」「歴史民俗資料館、柳田國男・松岡家記念館、大庄屋三木家住宅の見学と解説」「葛屋重三郎の生涯」「腸内細菌との共生と乳酸菌の働きについて」等

□効果・達成度

座学だけでなく、課外学習も実施し、受講生の知識習得や交流のための場を提供することができました。

□課題・改善

受講者の増加に向け、アンケート調査等を実施し、講座内容の創意工夫に努めます。

(単位：円)

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般 財 源
468,000	395,356			78,990	316,366

事業名／美術展事業

◆事業内容(目的・必要性)

美術展を開催し、優れた芸術作品に親しみ、地域住民の芸術文化への関心を高めることを目的としています。

◆事業の成果

■第42回福崎町美術展

会期：6月7日～6月9日

会場：エルデホール メインホール

部門及び審査員 日 本 画 島 田 直 季

洋 画 井 上 よ う 子

書 立山艸雪
写 真 しみずいさを
彫塑・工芸 石井宏志

美術展応募数・展示数

	令和4年度	令和5年度	令和6年度
応募数（点）	178	196	185
展示数（点）	131	132	135

□効果・達成度

日頃の創作活動の成果を発表する場、芸術文化を身近に鑑賞する機会を提供することができました。
約500人の来場者があり、地域に根をおろした公募美術展として定着しています。

□課題・改善

作品応募数及び来場者数が増えるよう、広報活動に努めます。

(単位：円)

予算額	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
973,000	923,441				923,441

事業名／文化振興事業

総合計画**基本計画-施策の構成					
まちづくりの柱《章》	施 策		町の取り組み		
II 学びを充実し文化を育むまちづくり	8 芸術・文化の振興		①多彩な芸術・文化活動の推進		
総 ◆ 取組内容	積極的に参加できる芸術・文化活動の展開			芸術・文化にふれる機会の創出	

◆事業内容(目的・必要性)

地域住民に優れた芸術文化に触れる機会を提供することを目的に、文化講演会を実施しています。

◆事業の成果

■第49回福崎秋まつり文化講演会

月日：10月26日

場所：エルデホール メインホール

演題：「人生七転び八起き」

講師：金村義明

入場者数：約200人

□効果・達成度

事業を通して、地域住民の文化意識の高揚、文化交流を図ることができました。

□課題・改善

より多くの地域住民に関心をもってもらい、来場者が増えるように、内容を検討します。

(単位：円)

予算額	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
1,152,000	1,057,295				1,057,295

1次評価：A

項	目	予算現額	支出済額	不 用 額
4.社会教育費	3.図書館費	74,419,000円	72,528,800円	1,890,200円

図書や雑誌、視聴覚資料等のメディアや情報資料を収集、保管し、利用者への提供により、教養や地域研究、レクリエーション等に資することを目的とした図書館の管理・運営に要した経費で、主な支出として、職員及び会計年度任用職員の人事費、電気代、施設修繕料、図書購入費、電算機器借上料等です。

事業名／図書館管理事業【令和5年度からの繰越含む】

◆事業内容(目的・必要性)

地域住民の学習・調査研究を行う情報拠点として、また、各種講座やイベント、ボランティア活動等を通して学習発表の場として、安全で快適に利用していただくため、適切な施設管理に努めました。

◆事業の成果

図書館をより長く、安全に安心して利用していただけるよう、施設等の改修工事を実施しました。主な修理箇所は次のとおりです。

- ・高圧受電設備改修工事 (3,520,000円) 【令和5年度からの繰越】
- ・蓄熱ユニット修理 (4,400,000円)

□効果・達成度

施設や設備については、定期点検等の実施、点検時指摘箇所の早期修繕により、安全安心な施設管理に努めました。

□課題・改善

令和7年度に開館20年を迎えることから、施設も館内各設備も補修を要する箇所や耐用年数を迎える設備が増えています。それらを早期に発見し、修繕をすることで、施設の耐久性を高める必要があります。定期的な見回り、点検、補修を継続して実施することで、安心して利用できる施設をめざします。

(単位：円)

予算額	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
21,326,000	20,530,942				20,530,942

事業名／図書館運営事業

総合計画**基本計画-施策の構成		
まちづくりの柱<章>	施 策	町の取り組み
II 学びを充実し文化を育むまちづくり	3 生涯学習の推進	①学びの場の充実
総◆取組内容	イベントや蔵書の充実	
I ともに進める持続可能なまちづくり	2 効率的な行財政運営の推進	②行政サービスの向上
創行◆取組内容	図書館の相互利用促進（播磨圏域連携中枢都市圏）	

◆事業内容(目的・必要性)

地域住民の自主学習を支え、ニーズに応じた情報提供を行うため、資料の整備や図書館広報・読書推進のための行事等を行いました。

◆事業の成果

学校訪問おはなし会を町内各小学校で行い、図書館見学とあわせて読書推進に努めました。学校訪問おはなし会の際には、テーマに沿った本の紹介を行うブックトークや団体貸出を活用して紹介した本をその後も学校で手に取ることができるようにしており、本への関心が高まり、その後図書館利用につなげることができました。

また、趣味の本や大人向けの特集棚を設けることで、幅広い年齢層への読書推進を図りました。

■子ども向け行事

おりがみくらぶ
たなばた会
夏休み工作教室
図書館おばけやしき
クリスマス準備工作教室
クリスマスコンサート
図書館であそぼ会
絵本読み聞かせ講座（全3回）
フクちゃん読書の日 図書館マイスター講座

■大人向け行事

キャンドルナイト

■図書館応援隊に対し、補助金を交付し、活動を助成しました。（200,000円）

■貸出冊数・貸出人数

	貸出人数(人)	貸出点数(点)	年度末登録者数(人)
令和4年度	44,133	221,404	19,922
令和5年度	47,699	223,787	20,521
令和6年度	46,719	216,146	21,053

□効果・達成度

令和6年度末の蔵書点数は、164,025点となりました。

福崎町子どもの読書推進計画（第2次）の2年目となる令和6年度は、令和5年度に町内全小中学生に配布した読書おもいで帳を町内小学1年生に配布し、楽しみながら読書習慣を身に付けられる仕組みづくりをしました。これまで来館経験のなかった児童・生徒が、読書おもいで帳をきっかけに利用登録をしてくれたり、保護者とともに継続して図書館を利用し、読書おもいで帳にどれだけ記録できているかを確認して楽しんだりと読書推進につなげられました。

また、館内のデジタルサイネージにおいて図書館応援隊活動の広報、図書館行事の広報に努めました。

□めざそう値

第6次総合計画めざそう値	R2	R3	R4	R5	R6	目標(R10)
図書館図書貸出人数（延べ人数）	39,578	45,036	44,133	47,699	46,719	50,000

第2期総合戦略アクションプランKPI	第1期実績(H27～R1)	R2	R3	R4	R5	R6	目標(R2～R6)
図書館町外登録者数（累計）	4,437人 (目標: 4,200人)	427	806	1,184	1,542	1,861	2,000

□課題・改善

本に触れる機会が年代で大きく偏りがあるため、子ども向けのイベントの定期開催、小学校は引き続

き図書館見学、学習の方法を学ぶ機会を設け図書館利用につながるよう継続して各校と連携します。

図書館の利用が少ない年代にもイベント等を通じ、継続した図書館利用につなげられるよう努めます。

(単位:円)

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源
25,361,000	24,829,183				24,829,183

1次評価: B

項	目	予算現額	支出済額	不 用 額
4.社会教育費	4.文化センター管理費	39,304,000 円	38,324,022 円	979,978 円

町民はもちろんのこと、町外の方々にも多く利用され、社会教育及び生涯学習の拠点として重要な役割を果たしている文化センターの管理・運営に要した経費で、主な支出は、職員及び会計年度任用職員の人工費、電気代、業務委託料です。

事業名／文化センター管理事業

総合計画**基本計画-施策の構成		
まちづくりの柱<章>	施 策	町の取り組み
Ⅱ 学びを充実し文化を育むまちづくり	3 生涯学習の推進	①学びの場の充実
総 ◆ 取組内容	生涯を通して誰もが学習できる機会の提供 施設の改修などの検討	講座・教室の開設や人材育成

◆事業内容(目的・必要性)

地域住民の文化意識の向上を図るため、学習活動、文化活動、ボランティア活動等の拠点である文化センターの効率的な管理運営を目的としています。

◆事業の成果

■施設の維持補修等

令和6年度は、駐車場区画線更新工事(297,000円)、非常放送設備更新工事(621,500円)、事務室空調機器修理工事(184,800円)等のほか、耐震診断業務委託(3,828,000円)を行いました。

■文化広報誌

「文化センターだより」「福崎町文化第41号」を刊行し、各戸配布しました。

■文化センターの利用状況

	有料及び無料使用件数				使用料 (円)	使用者数 (人)		
	有料 (件)	無料(件)						
		町関係他	公民館	教委				
令和4年度	402	185	582	567	1,736	1,216,210		
令和5年度	411	168	510	524	1,613	1,207,340		
令和6年度	317	150	459	503	1,429	908,220		

■負担金

・神崎郡美術協会負担金 23,000円 　・神崎郡連合PTA協議会負担金 58,000円

■補助金

・福崎町PTA協議会補助金 80,000円 　・福崎町文化協会補助金 400,000円

□効果・達成度

利用頻度や緊急性を考慮しながら適切な補修を行い、施設の安全管理に努めました。

□課題・改善

施設の老朽化が進み、抜本的な施設改修が必要となってきています。利用者が高齢化していることもあり、安全面や利便性の向上を最優先に検討していきます。

(単位：円)

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源
15,084,000	14,237,135			4,708,220	9,528,915

1次評価：B

項	目	予算現額	支出済額	不 用 額
4.社会教育費	5.エルデホール運営費	56,461,000円	55,564,574円	896,426円

地域の方々の自由な創造活動と地域振興と文化の発展を図るため、芸術・文化活動の場として貸館を行い、また、自主公演事業を実施しました。主な支出は職員及び会計年度任用職員の人事費、施設の運営費及び改修・修繕費、自主公演の実施に要した経費です。

事業名／エルデホール管理事業

総合計画**基本計画-施策の構成		
まちづくりの柱《章》	施 策	町の取り組み
Ⅱ 学びを充実し文化を育むまちづくり	3 生涯学習の推進	①学びの場の充実
総 ◆ 取組内容	講座・教室の開設や人材育成	施設の改修などの検討

◆事業内容(目的・必要性)

エルデホールは文化、地域振興の拠点の一つです。施設及び設備の利用を通して地域住民が安心して文化活動に利用できる施設となるよう管理運営を行いました。

◆事業の成果

貸館事業としては、講演会・講習会・ピアノ等発表会、各種展示・販売、会議、各種パーティー、屋外イベント等、多種多様に活用されました。

■利用状況

年 度			メインホール	イベントホール	洋 室	スタジオ	ホワイエ	屋外舞台
R4年度	開館日数 309	利用日数(日)	189	142	209	130	114	19
		稼働率(%)	61.17	45.95	67.64	42.07	36.89	6.15
R5年度	開館日数 308	利用日数(日)	201	157	164	133	126	26
		稼働率(%)	65.26	50.97	53.25	43.18	40.91	8.44
R6年度	開館日数 320	利用日数(日)	213	161	158	138	121	40
		稼働率(%)	66.56	50.31	49.38	43.13	37.81	12.50

※稼働率=利用日数／開館日数

利用日数は利用のあった日数。1日に複数の利用者があっても1としています。

年度	貸館使用料収入	使 用 回 数	使 用 者 数
R4年度	2,604,020円	840回	55,316人
R5年度	2,739,110円	852回	71,703人
R6年度	2,446,200円	868回	73,473人

■主な施設及び設備改修・修繕費等

開館から30年以上が経過し、施設や設備に故障・劣化が生じています。利用者に影響する箇所を優先し平成28年度から徐々に修繕・更新を進めています。

令和6年度における主な施設及び設備改修・修繕費に係る経費は、次のとおりです。

・裏玄関（北側）ドア1枚修理	23,100円
・男子トイレ和便器フラッシュバルブ修理	8,800円
・キュービクル電灯・動力盤電流計他取替工事	299,200円
・電動式移動観覧席部品交換	8,800円
・メインホール内可動階段修理	108,900円
・電話設備更新	299,750円
・仮電話機設置	41,800円

□効果・達成度

老朽化し、利用に不具合を生じていた設備を修繕・更新し、利便性が向上しました。

□課題・改善

施設の老朽化により、修繕の必要箇所が増えてきています。また耐用年数が過ぎている機器などが多く、安全面や運営面からも更新が必要です。今後も計画的に修繕や更新を行います。

(単位：円)

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
27,490,000	26,870,431			2,446,200	24,424,231

事業名／エルデホール自主公演事業

総合計画**基本計画-施策の構成					
まちづくりの柱《章》		施 策		町の取り組み	
Ⅱ 学びを充実し文化を育むまちづくり		⑧ 芸術・文化の振興		①多彩な芸術・文化活動の推進	
総	◆ 取 組 内 容	幅広い年代層が参加できる芸術・文化活動の展開		芸術・文化に触れる機会の創出	

◆事業内容(目的・必要性)

公演を通じて、地域住民に人生の生きがいと楽しみを提供することを目的に、自主公園事業を実施しました。事業は、地域の参加者が多い事業、住民の要望に基づく事業、若者文化の掘り起こし事業等、テーマ別に実施しました。

◆事業の成果

■自主事業実施状況

地域文化の振興と、文化・芸術への興味や知識を深めていただくために、7回の自主公演事業を実施しました。これに伴う入場料収入の合計は4,523,900円でした。

・自主事業一覧

実施日	内 容	人数(人)
4月28日(日)	歌劇「蝶々夫人」ハイライトコンサート ええとこどり!	351
5月19日(日)	FUKUSAKI SHIBAFU FESTIVAL Vol. 1 feat. ET-KING ※芝生広場での屋外ライブ	722
8月17日(土)	ヒロシのソロキャンプトークショー	357
10月5日(土)	令和6年度公共ホール音楽活性化事業 歌のレストラン-ERDE- ※(一財)地域創造 助成事業	231
11月17日(日)	三山ひろし特別公演 演歌と歌謡ショー	341
12月15日(日)	「三井住友海上文化財団 ときめくひととき」公演 原田節～オンドマルトノの世界～ with 福崎高校ギター・マンドリン部 ※助成事業	259
2月15日(土)	世にも奇妙なお笑いライブ in 福崎町	252
	計	2,513

□効果・達成度

令和6年度は自主事業を7回行いました。国や県の各種補助金が削減されてきている中、助成事業を活用した公演を2件実施しました。また、数十年ぶりに芝生広場を活用した屋外ライブ、地域振興課と連携した町観光大使によるイベント開催等、新たな取り組みを行いました。

□めざそう値

※屋外イベント入場者数は参考数値とし、めざそう値の算定に含んでいません。

第6次総合計画めざそう値	R2	R3	R4	R5	R6	目標(R7)
自主公演事業平均入場者数	133	290	248	346	298	300

□課題・改善

自主公演事業は、屋内イベントの入場者は満員に近く、屋外公演は天候等の影響を受けやすく、今回は雨天のため見込みより少ない入場者となりましたが、大規模集客の機会と考えています。

事業内容は、人気のジャンル・出演者にとらわれず、幅広い演目に目を向け、ニーズに沿った事業をさまざまな助成制度を活用しながら実施します。

(単位:円)

予算額	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
10,762,000	10,758,710			4,591,000	6,167,710

1次評価: B

項	目	予算現額	支出済額	不 用 額
4.社会教育費	6.研修センター運営費	9,654,000円	9,184,311円	469,689円

文化センター(中央公民館)の分館で、社会教育及び生涯学習の拠点として重要な役割を果たしている八千種研修センターの管理・運営に要した経費で、主な支出は、会計年度任用職員の人工費、電気代、図書購入費です。

事業名／研修センター管理事業

◆事業内容(目的・必要性)

地域文化の向上、研さんの場として、利用者に安全で快適に利用していただくため、施設の適切な管理・運営を目的にしています。

◆事業の成果

■施設の維持補修

令和6年度は、施設の維持補修として、屋上パラペット補修工事（418,000円）、外灯看板工事（627,000円）を実施しました。

■利用状況

※（ ）内は有料件数（内数）

	使用件数(件)	使用人数(人)	使用料(円)	貸出図書数(冊)
令和4年度	642 (108)	7,516	72,130	1,027
令和5年度	708 (157)	7,766	83,770	943
令和6年度	713 (161)	8,065	103,980	896

第39回八千種研修センターまつりは、10月19日・20日に実施し、当センターを利用している各種活動団体が日頃の活動の成果を発表しました。

□効果・達成度

公民館クラブや各種活動団体の地域文化活動の拠点として、活動の場や交流の機会を提供しました。

□課題・改善

安全面に考慮した施設改修及び施設の長寿命化・保安管理に努めます。

(単位：円)

予算額	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
5,029,000	4,581,383			103,980	4,477,403

1次評価：B

項目	目	予算現額	支出済額	不 用 額
4.社会教育費	7.青少年野外活動センター費	10,042,000円	9,541,789円	500,211円

青少年健全育成施設としての野外活動センターの管理に要した経費です。

事業名／青少年野外活動センター管理事業

総合計画**基本計画-施策の構成

まちづくりの柱<章>	施 策	町の取り組み
Ⅱ 学びを充実し文化を育むまちづくり	2 地域と連携した教育	③地域資源をいかした人材育成
総 ◆ 取組内容	自然をいかし、豊かな人間性を身につける取り組み	

◆事業内容(目的・必要性)

野外活動を通じて、青少年の健全育成を図り、また、地域住民が自然にふれる機会や交流の場を提供するため、安全快適な施設管理を行いました。

◆事業の成果

■主な施設修繕料

- ・管理棟 2 F 多目的トイレ改修 266,200円 (請負業者:高岡電工(株))
- ・擬木柵設置工事 3,027,200円 (請負業者:(株)松本組)

■主な委託料

- ・清掃委託料 174,410円 (請負業者:(有)シー・エス・シー、田口区)
- ・警備委託料 138,600円 (請負業者:セコム(株)加西営業所)
- ・電気設備管理委託料 175,560円 (請負業者:黒正電気設備管理事務所)
- ・立木伐採委託料 299,200円 (請負業者:(有)シー・エス・シー)
- ・山小屋空調設備設置工事実施設計業務委託料

249,700円 (請負業者:橋本設計工房)

■利用状況

(単位:円)

年度	施設利用者数(人)	利用団体数	施設利用料	山小屋	テント	テントサイト	食器類	管理棟・多目的ホール	シャワー	その他(シーツ)	合計
令和3年度	4,144	428	703,120	50,560	6,600	247,500	4,650	5,300	39,600	53,040	1,110,370
令和4年度	4,615	429	793,870	82,240	7,700	265,100	8,350	5,550	67,200	88,560	1,318,570
令和5年度	6,934	481	1,094,005	134,880	26,400	279,400	17,050	9,350	101,800	98,880	1,761,765
令和6年度	5,476	406	936,155	104,480	29,700	233,200	18,600	2,200	83,800	111,360	1,519,495

※利用者数は延べ人数で集計しています。

□効果・達成度

青少年野外活動センターは、自然に親しみながら友愛と協力の心を育て、青少年の健全育成を図ることを目的にした施設として利用者に定着しています。

□課題・改善

青少年野外活動センターは、近くに七種の滝、つなぎ岩、金剛城寺などがあり、1年を通して自然の景観に優れています。町内外の青少年健全育成団体に利用いただけるよう、今後も利用者の安全を図るための取り組みを継続します。

(単位:円)

予算額	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
10,042,000	9,541,789			4,812,495	4,729,294

1次評価: A

項	目	予算現額	支出済額	不 用 額
4.社会教育費	8.人権教育振興費	4,689,000円	4,352,390円	336,610円

日常生活の中で人権尊重を自然に態度や行動として表わすことが文化として定着している社会をめざしています。人権について、一層理解を深めていただくため、自治会研修会をはじめ、家庭や学校において研修を行い、人権意識の高揚を図りました。

また、男女がお互いの人権を尊重しつつ責任も分かち合い、性別に関わりなく、その個性と能力を十分に発揮し、いきいきと暮らすことができる男女共同参画社会の実現をめざすため、「福崎町男女共同参画基本

計画」に基づく事業の推進を行いました。

総合計画**基本計画-施策の構成		
まちづくりの柱<章>	施 策	町の取り組み
II 学びを充実し文化を育むまちづくり	4 人権教育の推進	①人権啓発活動の推進
総 ◆ 取組内容	人権に対する正しい理解の普及・啓発	人権相談の実施・周知
II 学びを充実し文化を育むまちづくり	4 人権教育の推進	②人権教育の推進
総 ◆ 取組内容	人権に関する知的理解と人権感覚の育成	各自治会での学習会の充実
II 学びを充実し文化を育むまちづくり	5 男女共同参画社会の推進	①啓発活動の推進
総 ◆ 取組内容	女性への人権侵害の解消を進める啓発活動の推進	ワーク・ライフ・バランスの取り組みの促進
II 学びを充実し文化を育むまちづくり	5 男女共同参画社会の推進	②学習機会の充実
総 ◆ 取組内容	セミナーなどを通した学習機会の充実	
II 学びを充実し文化を育むまちづくり	7 スポーツ・レクリエーション	②ライフステージに応じたスポーツ・レクリエーションの推進
総 ◆ 取組内容	すべての町民がスポーツ・レクリエーションを楽しめる環境づくり	
II 学びを充実し文化を育むまちづくり	1 参画・協働と透明性の向上	②住民参画による協働のまちづくりの推進
行 ◆ 取組内容	女性活躍の推進	

□めざそう値

第6次総合計画めざそう値	R2	R3	R4	R5	R6	目標(R10)
審議会委員などへの女性委員登用率	31.7%	31.7%	26.1%	25.5%	25.6%	30.0%

(第6次行政改革実施計画：令和7年度目標 37.0%)

事業名／人権教育振興事業

総合計画**基本計画-施策の構成		
まちづくりの柱<章>	施 策	町の取り組み
II 学びを充実し文化を育むまちづくり	4 人権教育の推進	①人権啓発活動の推進
総 ◆ 取組内容	人権に対する正しい理解の普及・啓発	
II 学びを充実し文化を育むまちづくり	4 人権教育の推進	②人権教育の推進
総 ◆ 取組内容	各自治会での学習会の充実	

◆事業内容(目的・必要性)

地域住民の人権意識の高揚を図るため、自治会研修会を実施しました。

男女共同参画社会実現のため、「福崎町男女共同参画基本計画」に基づき、男女共同参画の周知、啓発を図りました。

◆事業の成果

■研修会の開催

- ・自治会単位人権・青少年健全育成研修会
32自治会が実施 啓発DVD視聴・講話 参加者：706人

■福崎町男女共同参画の推進

- ・国の男女共同参画週間にあわせて広報誌掲載、図書館に男女共同参画に関する図書コーナー設置
- ・国の男女共同参画週間にあわせて講演会開催

講演：演題「頭脳はつらつ講座」 参加者：55人

講師 健康生きがいづくりアドバイザー 黒崎 輝美

- ・ふくさき女性応援ねっとセミナー及び講演会の開催を後援

■負担金

- ・神崎郡人権教育研究協議会負担金 232,000円
- ・神崎郡民主化推進連絡協議会負担金 58,000円
- ・神崎郡人権問題対策協議会負担金 174,000円

- ・（公財）人権教育啓発推進センタ一年会費 20,000円

■補助金

- ・自治会単位研修会補助金 757,000円
- ・福崎町民主化推進協議会運営補助金 450,000円
- ・ふくさき女性応援ねっと補助金 200,000円

□効果・達成度

自治会研修会を行うことにより、「相手を正しく知り、お互いを認め合うことが人権課題の解決につながる」ということを学んでいただくことができました。

また、男女共同参画基本計画に基づく事業を実施し、男女共同参画社会の実現に寄与することができました。

□めざそう値

第6次総合計画めざそう値	R2	R3	R4	R5	R6	目標(R10)
自治会単位研修会への参加者数	198	415	771	784	706	1,300
第2期総合戦略アクションプランKPI	R2	R3	R4	R5	R6	目標(R6)
女性の働き方セミナー受講者数	8	8	4	5	5	10

□課題・改善

自治会研修会への参加者数は、平成30年度以降減少傾向にあるため、引き続き、自治会をはじめ、家庭や学校と連携し、人権教育・啓発活動に努め、日常生活において態度や行動に現れるような人権感覚の育成に取り組みます。男女共同参画基本計画に基づき、男女共同参画社会の実現に向けて取り組みを推進します。

(単位：円)

予算額	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
2,193,000	2,096,334				2,096,334

事業名／人権啓発事業

◆事業内容(目的・必要性)

人権意識高揚のため、県の「人権文化をすすめる県民運動」の趣旨に基づき実施する啓発事業で、県の補助事業です。地域住民等の人権意識高揚を図るため、人権・青少年健全育成フェスティバルを実施し、小中学校の主張体験発表及び講演を行いました。

◆事業の成果

■福崎町人権・青少年健全育成フェスティバル

12月7日 エルデホール メインホール 参加者：216人

- ・体験発表 小中学生
- ・講演 演題：「外国籍住民の人権」
講師：教授 朴 一（ぱく いる）
- ・展示 人権意識高揚活動記録、人権ポスター・人権標語

■人権啓発冊子

- ・「豊かな心がふれあう活力ある福崎町を目指して」作成・全戸配布 6,500部 278,190円

- ・「元気U P じんけん」 二十歳のつどい配布 200部 20,000円
- 啓発DVDの購入

- ・「あなたのいる庭」 66,000円
- 効果・達成度

人権意識を高め、人権問題に対する理解を深めることができました。

□課題・改善

あらゆる人権問題に関心を持つことができるよう、また、家族間で人権意識を高める会話のきっかけとなるよう、今後も継続して啓発活動を実施します。

(単位:円)

予算額	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
876,000	826,937	208,000			618,937

事業名／人権意識高揚（心の教育）活動委託事業

総合計画**基本計画-施策の構成		
まちづくりの柱《章》	施策	町の取り組み
Ⅱ 学びを充実し文化を育むまちづくり	① 魅力ある学校づくり	④ 豊かな心・健やかな身体の育成
総 ◆ 取組内容	思いやりに満ちた人間関係の構築	
Ⅱ 学びを充実し文化を育むまちづくり	② 地域と連携した教育	② 青少年の健全育成
総 ◆ 取組内容	子育て支援や家庭教育のあり方などについての啓発	

◆事業内容(目的・必要性)

児童・生徒一人ひとりが、互いの人権を重んじ、あたたかく支え合い、生きがいと希望を持つとともに子どもたちの自立を促し、「豊かな心と生きる力」を育むことを目的に各種事業を実施しました。

◆事業の成果

子どもたちがその発達段階に応じ、人権尊重の理念に対する理解を深め、これを体得するには、多様な機会の提供、効果的な人権学習が必要です。人権学習（インターネットによる人権侵害についての学習等）を含め、地域交流や郷土愛育成等の事業を展開するための各小中学校への委託事業です。

□効果・達成度

車いす体験、スマホ・ケータイ教室、人権に関する講演会など各種事業に取り組んでいただきました。身近な人権課題解決のためのグループ討議や講話による学習や清掃ボランティア活動などを通じて、子どもたちの互いの人権を重んじ、「豊かな心と生きる力」を育むことができました。

□課題・改善

今後も多様な人権学習の機会提供に努めます。

(単位:円)

予算額	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
1,620,000	1,429,119				1,429,119

1次評価：A

項	目	予算現額	支出済額	不 用 額
4.社会教育費	9.辻川界隈文化振興費	40,980,000円	37,547,259円	3,432,741円

辻川界隈の文化振興及び文化施設の管理・運営に要した経費で、主な支出は、会計年度任用職員の人工費、歴史民俗資料館、柳田國男・松岡家記念館の運営、三木家住宅の管理、第45回山桃忌の開催に要した経費です。

総合計画**基本計画-施策の構成		
まちづくりの柱《章》	施 策	町の取り組み
II 学びを充実し文化を育むまちづくり	8 芸術・文化の振興	③「民俗学のふるさと」づくりの推進
総 創 ◆ 取組内容	「民俗学」を身近に感じられる環境の創出	地域資源の有効活用、魅力発信
IV 地域の特性をいかした活力と魅力のあるまちづくり	3 交流と観光の振興	①地域資源の発掘・活用
総 創 ◆ 取組内容	歴史文化資源をいかした取り組みの推進	
IV 地域の特性をいかした活力と魅力のあるまちづくり	3 交流と観光の振興	②まちの魅力発信
総 創 ◆ 取組内容	積極的なまちの魅力発信	官民連携によるイベントなどの継続・支援
V 誰もが安全で快適に暮らせるまちづくり	5 公園・緑地の整備	①うるおい空間の整備
総 ◆ 取組内容	観光拠点としての公園の整備	

事業名／歴史民俗資料館運営事業

◆事業内容(目的・必要性)

郷土資料（出土品、古文書、民俗資料、行政資料等）を収集保存し一般に公開するため、各種事業を実施しました。

◆事業の成果

■展示活動

地域の発展や歴史と緊密である「交通」を通して、古くから往来が盛んな交通の要衝であった福崎の歴史を振り返り、新たに発見された資料を中心に紹介し、展示しました。

会 期	名 称	入館者数	備 考
4月20日～5月31日	企画展「教科書展－地理編－」	1,654人	展示点数 65点
10月19日～12月8日	特別展「福崎の交通変遷」	1,885人	展示点数 132点
2月22日～3月23日	埋蔵文化財発掘調査速報展 「発掘された福崎2023」	833人	展示点数 62点

■吉識雅夫顕彰デジタルサイネージ購入

デジタルサイネージを購入し、吉識雅夫に関連する映像や写真等を放映し、顕彰しました。

購入費：208,175円（業者：（株）パナハウスごとう電化）

■資料収集

郷土資料を収集しました。令和6年度は、4人の方から民具・文書等50点を寄贈いただきました。

■教育普及活動

・ふくさき歴史体験隊 隊員数10人

地域の歴史や文化財を活用した活動として、辻川界隈における柳田國男関連のウォークラリーをはじめ、ガリ版印刷やまが玉づくり等を行い、指導者等さまざまな年齢層の方との交流を図ることができました。

- ・連続講座「伊勢大神楽はどのように継続してきたか」

本講座では、福崎町でも馴染みのある伊勢大神楽について、その成立や歴史等の背景を知ることで、民俗学や文化について理解していただく機会を提供しました。

■入館者数 10,904人（令和5年度10,390人、令和4年度8,500人）

□効果・達成度

年間を通じて、企画展や連続講座、ふくさき歴史体験隊事業等を実施し、幅広い年代層に郷土の歴史や文化を学ぶ機会を提供することができました。

□課題・改善

これまで蓄積された収蔵資料の保管や整理に継続して取り組み、資料の活用が充実するよう努めます。

（単位：円）

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源
5,835,000	4,849,223			200,000	4,649,223

事業名／柳田國男・松岡家記念館管理事業

◆事業内容（目的・必要性）

日本民俗学の創始者である柳田國男と松岡家の業績を顕彰するため、関連する資料を収集、保存し、柳田國男生家とともに一般に公開しました。

来館者が快適に利用できるよう老朽化した施設及び周辺環境の改善に努め、柳田國男や松岡家に関する資料の保全、活用に継続して取り組みました。

◆事業の成果

■資料収集・資料整理

柳田國男・松岡家ゆかりの資料を収集しました。令和6年度は3人と1団体の方から「著名人寄せ書き」等6点を寄贈いただきました。

■施設修繕・改修

- ・1階トイレドア修繕

修繕料：109,725円（請負業者：（株）モリ）

- ・柳田國男生家暦表修繕

修繕料：220,000円（請負業者：牛尾建設（株））

- ・2階収蔵庫棚設置工事

工事費：660,000円（請負業者：（株）モリ）

■記念館周辺立木伐採等業務委託

委託料：517,000円（請負業者：（有）シー・エス・シー）

■柳田國男直筆資料デジタル化業務委託

委託料：299,200円（請負業者：エイチ・エス写真技術（株））

■松岡映丘画稿補修業務委託

委託料：497,200円（請負業者：（株）工房レストア）

作品6点 「雪の日」「犬と女」「聖観世音」「山荘」「御殿」「女を背負う男（芥川）」

■自動車購入

軽四貨物（ハイゼットカーゴ）：1,214,760円（請負業者：小林自動車サービス部）

■講演会

「旅する柳田國男－ジャーナリストの視点－」 11月16日

講師：石井正己 参加者：30人

■入館者数13,161人（令和5年度12,546人、令和4年度9,481人）

□効果・達成度

開館から45年以上を経過した記念館や生家について、日々の施設点検・記録を行い、不具合箇所等の早期発見、対処等、施設の安全性・利便性改善に努めました。資料補修では、松岡映丘画稿の裏打ち等を行い、資料保全を図りました。

□めざそう値

第6次総合計画めざそう値	R2	R3	R4	R5	R6	目標(R10)
柳田國男・松岡家記念館入館者数	12,495	9,823	9,481	12,546	13,161	16,000

□課題・改善

老朽化した施設の環境改善やリニューアルが必要です。また、資料保全においては、松岡映丘画稿の補修を継続して行い、管理や展示活用の充実に努めます。

（単位：円）

予算額	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
8,725,000	7,448,550			3,727,000	3,721,550

事業名／柳田國男・松岡家記念館運営事業

総合計画**基本計画-施策の構成			
まちづくりの柱《章》	施策	町の取り組み	
Ⅱ 学びを充実し文化を育むまちづくり	⑧ 芸術・文化の振興	④先人の功績顕彰	
総◆取組内容	偉大な先人の功績をよりわかりやすく発信	顕彰を進める取り組みの充実	

◆事業内容（目的・必要性）

柳田國男と松岡家の業績を顕彰するため、各種事業を実施しました。第45回山桃忌、春季・秋季企画展を実施しました。第11回柳田國男検定では、上級編の最高得点者に「旅行券3万円分」を贈りました。教育普及活動では、伊勢大神楽、版画教室を開催しました。

◆事業の成果

■第45回山桃忌

8月3日（8月16日よりWEB配信）

「柳田國男の旅」参加者：136人 視聴者：39人

内容：山桃忌 式典

記念講演「柳田國男の旅と学問－『遠野物語』から『雪国の春』へ－」

柳田國男・松岡家記念館顧問、東京学芸大学名誉教授 石井正己

シンポジウム 「柳田國男の旅と故郷」

コーディネーター：石井正己

パネリスト：早稲田大学教授 鶴見太郎

武庫川女子大学教授 高木史人
市立加西病院顧問 杉江勝治

8月4日

「柳田國男の旅と民俗芸能」参加者：224人

内容：「沖縄の民俗芸能」解説

柳田國男・松岡家記念館顧問、東京学芸大学名誉教授 石井正己

「沖縄の民俗芸能」上演

・沖縄芝居（当銘由亮）・沖縄エイサー（琉鼓会）・琉球舞踊（前田雅子琉舞道場）

■第11回柳田國男検定（初級編、中級編、上級編）

実施日：8月4日

受検者数：初級編16人、中級編9人、上級編8人

合格者数：初級編13人、中級編7人、上級編2人

■展示活動

会期	名称	入館者数	備考
4月6日～6月2日	企画展「松岡映丘画稿展～中世日本のお話～」	2,471人	展示点数 9点
10月5日～12月8日	企画展「柳田國男の旅【秋風帖・雪国・春・海南小記】」	2,718人	展示点数 46点
11月2日～11月24日	「福崎町子どもふるさと展」	1,208人	展示点数 53点

■教育普及活動

・伊勢大神楽 11月9日 演者：伊勢大神楽講社 木村七良太夫組 参加者：165人

・岩田健三郎版画教室 12月1日 講師：岩田健三郎 参加者：14人

・ピッコロわくわくステージ 6月17日 演目：あしあとのおと、ものがたり

参加者：福崎西中学校（教師6人・生徒67人）73人

福崎東中学校（教師9人・生徒99人）108人 合計181人

委託料：385,900円（出演者：ピッコロ劇団）

■第12回福崎町柳田國男ふるさと賞

柳田國男の顕彰を図るとともに、郷土に愛着と誇りを持ってもらうことを目的として、地域の歴史や民俗文化について優れた調査・研究を行った児童・生徒に対して、賞を贈りました。

・小学校低中学年の部

岩城旭飛（八千種小学校4年生） 作品名「昔の遊びについて」

・小学校高学年の部

志水栄（福崎小学校6年生） 作品名「新町屋台の歴史と昔の福崎の川の東西の地域交流について」

・中学校の部

井藤千都（福崎東中学校1年生） 作品名「地域の地蔵について」

■日本民俗学会研究奨励賞の副賞

令和6年度 三隅貴史 「神輿と闘争の民俗学 浅草・三社祭のエスノグラフィー」

■館報「うぶすな」発行（7,000部）

□効果・達成度

山桃忌、柳田國男検定、企画展、ふるさと賞等、年間を通じて顕彰事業に取り組み、「柳田國男生誕

の地 福崎町」を町内外に発信し、松岡五兄弟への理解を深めることができました。

□課題・改善

柳田國男・松岡家の功績を、幅広い世代が再認識できるわかりやすい催しや展示手法を引き続き研究します。「柳田國男生誕の地」の認知度を高めるため、さらに情報発信を工夫し誘客に努めます。

(単位:円)

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源
3,786,000	3,442,723			476,000	2,966,723

事業名／三木家住宅等管理事業

総合計画**基本計画-施策の構成			
まちづくりの柱《章》	施 策	町の取り組み	
Ⅱ 学びを充実し文化を育むまちづくり	8 芸術・文化の振興	③「民俗学のふるさと」づくりの推進	
総 創 ◆ 取 組 内 容	文化財をつなぎまちづくりへの活用	地域資源の有効活用と魅力発信	

◆事業内容(目的・必要性)

平成22年度から進めてきた主屋に関連する保存修理工事が終了し、三木家住宅を活用していくため、平成29年度から主屋部分を展示施設として一般公開しています。三木家の歴史や魅力を来館者に伝えるため、公開イベントを実施しました。三木家資料の保存活用のため、神戸大学大学院人文学研究科との共同研究による資料調査を実施しました。

主屋以外の部分の指定管理者による活用が開始されたことにより、三木家住宅内蔵等に保管されていた貴重な資料を適切に保管・管理するとともに、展示も可能な展示兼収蔵施設を令和2年度に三木家住宅の東側に整備し、資料の収蔵を進めるとともに、実際に資料に触ることができる住民向け資料保存ワークショップ等を継続して開催しました。

◆事業の成果

■主屋公開事業

■三木家住宅主屋公開イベント

実施日	内 容	講 師	参加者(人)
4月27日 ～5月26日	企画展「五月人形展」	—	961
7月7日	手づくり講習会 「三木家de風鈴づくり」	—	74
7月7日 ～8月25日	企画展「手づくり風鈴展」	—	735
11月1日 ～12月1日	特別展示「大庄屋のお仕事 姫路藩辻川組三木家の奮闘」	(展示点数22点)	1,344
11月2日	三木家入門講座⑧ 「姫路藩大庄屋の職務と活動」	武庫川女子大学 准教授 河野 未央	15
11月3日	手づくり講習会「ツノナス工作」	—	53
2月15日 ～3月23日	企画展「雛人形と春の民具展」	—	852

■三木家資料保存体験型講座

三木家資料保存ワークショップ「下張り文書はがし作業」（6回）

5月11日 参加者6人 7月6日 参加者10人 9月7日 参加者4人
11月2日 参加者8人 1月11日 参加者7人 3月1日 参加者12人

■画稿等補修委託

委託料：297,000円（受託業者：（株）工房レストア）

資料4点 「通深画2点」「西光寺野御新開一件控5番」「犬鼻碑石一件」

■開館日数・入館者数

開館日数 145日 入館者数 6,251人

□効果・達成度

四季に応じた展示、講習会等を実施し、多くの見学者を得て、文化財保護意識を醸成することができました。また、資料調査の成果を活用した特別展示を実施することで辻川界隈への来訪の機会を高め、住民とともに資料整理を行うことで文化財への興味関心を高めました。

□めざそう値

第6次総合計画めざそう値	R2	R3	R4	R5	R6	目標(R10)
大庄屋三木家住宅(NIPPONIA)宿泊者数	546	623	1,820	1,788	2,495	2,200

□課題・改善

指定管理者等と連携して、まちの歴史を伝える文化財として三木家住宅の保存を図りつつ、来訪者の興味・関心を高める展示やイベントの充実に努めます。展示兼収蔵施設に収蔵できなかった資料を適切に保管・継承していくための収蔵場所が必要です。

（単位：円）

予算額	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
4,974,000	4,789,447			297,000	4,492,447

事業名／歴史・文化館管理事業

◆事業内容(目的・必要性)

歴史・文化館の管理にかかる費用です。

◆事業の成果

歴史・文化館の建物共済保険加入及びエレベータ一点検、施設の修理を実施しました。

□効果・達成度

歴史・文化館の適正管理に寄与しました。

□課題・改善

今後も施設の適正管理に努めます。

（単位：円）

予算額	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
315,000	219,159				219,159

事業名／辻川界隈文化振興事業

◆事業内容(目的・必要性)

辻川界隈の活性化のため、文化財の保護及び観光振興に継続して取り組むとともに、地域の環境美化に努めました。

◆事業の成果

松岡五兄弟石像及び短歌祭掲示板のモニュメント保険、望郷の丘の建物共済保険に継続加入したほか、環境美化の取組として草刈り等を行いました。辻川山展望台の眺望を確保するため、南側斜面の雑木伐倒を行いました。

■辻川山展望台南側雑木伐倒業務委託

委託料：495,000円（受託業者：日和堂）

□効果・達成度

辻川界隈の観光振興に寄与しました。

□課題・改善

辻川界隈の活性化に向けた検討を進める必要があります。

(単位：円)

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳			
		国 県 支 出 金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
2,370,000	1,887,168			495,000	1,392,168

1次評価：B

項	目	予 算 現 額	支 出 濟 額	不 用 額
4. 社会教育費	10. 文化財保護費	65,545,000円	64,120,320円	1,424,680円

文化財保護に要した経費で、主な事業は、指定文化財等の助成、埋蔵文化財発掘調査、文化財保存活用地域計画の推進です。

事業名／文化財保護一般事務費

総合計画**基本計画-施策の構成		
まちづくりの柱△章	施 策	町の取り組み
II 学びを充実し文化を育むまちづくり	8 芸術・文化の振興	②歴史文化遺産の保存と活用
総◆ 取組内容	「福崎町文化財保存活用地域計画」に基づく文化財の保存・活用	大学との連携等、町民主体の保存・活用活動の推進
II 学びを充実し文化を育むまちづくり	8 芸術・文化の振興	③「民俗学のふるさと」づくりの推進
総創◆ 取組内容	三木家住宅、旧辻川郵便局の新たな活用	

◆事業内容(目的・必要性)

文化財を保護し、活用を図るため、指定文化財の保存継承事業や古墳周辺整備等への補助金交付を行いました。文化財審議委員会を組織し、文化財行政について専門的な立場から審議いただきました。

福崎町の地域歴史遺産の掘り起こしを進めるため、神戸大学大学院人文学研究科との地域連携事業に取り組みました。また、地域の伝統文化継承の取り組みを推進するため、伝統文化体験事業を実施しました。

◆事業の成果

■指定古墳周辺整備補助金：5古墳×10,000円

大塚古墳（山崎）・相山古墳（西大貫）・神谷古墳（魔王寺）・東広畑、東新田古墳（北野）・妙徳山古墳（神積寺）

■指定民俗文化財保存継承事業補助金：6保存会×30,000円=180,000円

淨舞（熊野神社・田尻）・淨舞（大歳神社・余田）・追儺（神積寺）・法成就講（高橋）・獅子舞（桜）・かくしほちょじ（鍛冶屋）

■伝統文化親子教室事業（地域展開型）高岡地区伝統文化体験事業

・高岡地区伝統文化体験イベント（高岡地区伝統文化わくわく体験会）

8月24日 生け花・シデづくり体験 延べ参加者59人（子ども・保護者）

・高岡地区伝統文化教室

9月～10月 シデ折教室の実施 延べ参加者78人

■文化財審議委員会

第1回：7月25日 第2回：3月10日

□効果・達成度

町指定文化財整備事業等に補助金を交付することで、文化財保護活動の促進を図りました。

神戸大学大学院人文学研究科との地域連携事業では、記念館・歴史民俗資料館において展示や資料整理の指導助言、松岡家に関する資料調査も継続して行い、調査成果は広報誌等で広く町民に発信しました。令和6年度は、令和7年度の柳田國男生誕150年に向け柳田國男に関する資料収集・分析を進め、成果を企画展で披露しました。また、地域資料の保全、活用のため、調査・整理を継続して行いました。三木家住宅ふすま下張り文書の保存処理や整理作業を住民の方とともに進めるためのワークショップを開催し、文化財への関心を高めました。

□課題・改善

地域所在資料を広く地域住民に知ってもらい、保存・継承につなげるため、引き続き住民と協働した資料の調査や整理・展示会の企画等、継続した取り組みが必要です。

住民に文化財の重要性を認識していただくため、文化財に関する展示活動や広報活動を充実させます。

文化財や郷土資料を保存継承していくため、適切な保存環境を備えた収蔵施設の整備が必要です。

（単位：円）

予算額	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
3,330,000	3,241,027	1,450,000			1,791,027

事業名／埋蔵文化財発掘調査事業

総合計画**基本計画-施策の構成		
まちづくりの柱《章》	施策	町の取り組み
Ⅱ 学びを充実し文化を育むまちづくり	8 芸術・文化の振興	②歴史文化遺産の保存と活用
総◆取組内容	継続的な文化財調査の実施、適正な文化財の保存・活用	大学との連携等、町民主体の保存・活用活動の推進

◆事業内容（目的・必要性）

埋蔵文化財を適切に保護していくため、開発事業との円滑な調整を図り、調査を行いました。

◆事業の成果

埋蔵文化財包蔵地内の民間開発等に伴う試掘調査を19か所、立会調査を1か所、確認調査を4か所、本調査を2か所で行いました。

高岡・福田地区は場整備事業に伴う調査では、宮ノ前遺跡の調査を実施し、奈良時代を中心とした竪穴住居や掘立柱建物などを確認しました。また、中播消防署本署建替事業に伴う調査では、中世の遺構を確

認しました。

■民間開発等に伴う試掘・立会調査

調査名	時代	種類	現状	調査期間	調査面積
コインランドリー建築工事に伴う福崎新字内屋敷試掘調査 ほか19件	—	—	更地	4月2日（1日）	計120m ²

■民間開発等に伴う確認調査

調査名	時代	種類	現状	調査期間	調査面積
町道西野長目線整備工事に伴う長目遺跡確認調査（第5次）ほか3件	弥生	集落跡	水田	4月30日（1日）	計44m ²

■民間開発等に伴う本調査

調査名	時代	種類	現状	調査期間	調査面積
中播消防署本署建替事業に伴う南田原条里遺跡本調査（第62次）	弥生 奈良 中世	集落跡 その他	水田	11月7日～ 12月17日（26日）	784m ²

■ほ場整備事業に伴う本調査等

調査名	時代	種類	現状	調査期間	調査面積
宮ノ前遺跡（第3次）	古墳 ～近世	集落跡 その他	水田	6月12日～ 3月18日（54日）	1,696 m ²

□効果・達成度

適切に調査を実施し、埋蔵文化財の保護に努めました。埋蔵文化財包蔵地の可能性がある箇所について、工事立会や分布調査・試掘調査を行うことで新たな埋蔵文化財が発見され、記録保存を行うことができました。調査の成果をまとめ、冊子を刊行しました。中播消防署本署建替事業に伴う発掘調査中に地元対象の現地公開を行ったところ24人の参加があり、地域の歴史について知っていただく機会とすることことができました。

□課題・改善

引き続き、ほ場整備事業や民間開発事業等との円滑な調整を図り、調査を実施していく必要があります。また、地域住民に埋蔵文化財の価値や調査への理解を深めてもらうために、発掘調査の結果を講座や展示会、現地説明会等で積極的に公開していく必要があります。

未整理の出土遺物が多数残っており、引き続き整理作業を進め、調査報告書の刊行に努めます。

（単位：円）

予算額	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
59,275,000	58,279,282	50,645,000		140,509	7,493,773

事業名／地域文化財総合活用推進事業

◆事業内容（目的・必要性）

地域の文化財及びその周囲を含め総合的に把握し活用するための基本的なアクションプランとして、福崎町文化財保存活用地域計画を令和2年度から3か年で作成し、令和4年7月に文化庁の認定を受けました。令和6年度は、令和4年度から令和10年度までの計画期間の中期の1年目として、目標の実現に向

けた取組を推進しました。また、町民に町の歴史文化への理解を深めていただくため、東広畠古墳出土銀象嵌大刀の解説リーフレットや埋蔵文化財マップを作成し、情報発信を行いました。

◆事業の成果

■文化財保存活用地域計画協議会 3月17日

■東広畠古墳出土銀象嵌大刀柄頭レプリカ作製 (公益財団法人元興寺文化財研究所)

■東広畠古墳出土銀象嵌大刀柄頭に関する展示会の開催

2月22日～3月23日 来館者数：833人

■埋蔵文化財マップの作成 2,500部

□効果・達成度

福崎町文化財保存活用地域計画協議会において、事業計画の内容や進捗状況の確認等を行い、多くの関係者から意見を得ました。定期的な点検と進行管理をすることで、目標の実現に向けた効果的な取組を推進することができました。

□課題・改善

福崎町の文化財をまちづくりに活かしながら、次世代へと伝えていくための計画内容を広く住民に周知するとともに、計画に基づいて文化財の保存・活用を進めます。

(単位：円)

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳			
		国 県 支 出 金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
2,940,000	2,600,011	1,150,000			1,450,011

1次評価：B

(5) 保健体育費

項	目	予算現額	支出済額	不 用 額
5. 保 健 体 育 費	1. 保健体育総務費	23,417,000円	22,816,576円	600,424円

体育館等スポーツ施設の管理等に要した経費で、主な支出として、職員及び会計年度任用職員の人工費、光熱費、施設修繕費、清掃費、機器借上料、各種団体補助金等に要した経費です。

生涯スポーツ事業の振興、推進に尽力している組織の活動費・助成金等です。その活動により、世代性別を問わず、多種目において、こころと体の健康づくりとコミュニケーションづくりの場を地域に提供しました。また、スポーツの成績を評価し讃えることで目標を掲げ、だれもが個性や能力を発揮できる環境づくりを進めました。

事業名／保健体育総務一般事務費

総合計画**基本計画-施策の構成		
まちづくりの柱《章》	施 策	町の取り組み
II 学びを充実し文化を育むまちづくり	7 スポーツ・レクリエーション	①スポーツを楽しむことができる環境づくり
総◆ 取 組 内 容	指導者の育成・確保	スポーツ団体や地域団体、学校との連携
II 学びを充実し文化を育むまちづくり	7 スポーツ・レクリエーション	②ライフステージに応じたスポーツ・レクリエーションの推進
総◆ 取 組 内 容	スポーツ・レクリエーション活動の推進	
III 誰もが健やかに暮らせるまちづくり	2 健康づくりの推進	②いつまでも健やかに暮らせる健康社会づくり
総 創◆ 取 組 内 容	住民の自主的な健康づくり活動の支援	

◆事業内容(目的・必要性)

生涯スポーツ全般にわたる事業推進のため、スポーツ推進委員・普及員が中心となり、地域住民対象のスポーツ大会や講習会等を企画し、生涯スポーツの普及発展を図りました。高齢化に対応し、日常生活の中に運動を取り入れるための普及活動を行いました。

また、生涯スポーツの振興を図るため、福崎町民または出身者ならびに町内に所在する団体であって、特に競技成績が優秀な個人及び団体に対してスポーツ功績賞を授与しました。

◆事業の成果

■スポーツ推進委員会

年4回開催し、変化する地域住民のニーズに応じた大会の企画や運営方法、健康教室等に関する審議を行いました。また、スポーツ推進委員の資質・指導力向上及び情報交換等のため各種研修会に出席しました。

開催日	第1回	4月3日	第2回	7月24日	第3回	11月6日
	第4回	1月22日	第5回	3月22日		

・兵庫県スポーツ推進委員女性委員研修会	6月22日	神戸市
・中播磨スポーツ推進委員研究協議会	6月16日	神河町
・兵庫県スポーツ推進委員研究協議会	10月19日	姫路市
・全国スポーツ推進委員研究協議会	11月14日 15日	宮崎市
・近畿スポーツ推進委員研究協議会	2月1日 2日	京都市

■健康推進事業

スポーツ推進委員の知識・技術を活用し、暮らしの中での運動習慣の推進を行いました。

■スポーツ功績賞

スポーツ競技で優秀な成績を収めた方をスポーツ功績賞審査委員会で審議し、個人12人及び団体1組を表彰しました。

【受賞者一覧】

氏名	所属	内容	成績
二宮直輝	福崎小学校5年生	第48回兵庫県小学生陸上競技大会 (男子の部 5年生走高跳)	第1位
本田紗由妃	姫路女学院中学校2年生	第68回兵庫県中学校総合体育大会第74回兵庫県中学校バレー ボール競技大会	第1位
高橋禪	福崎米山道場スポーツ少年団 (田原小学校6年生)	第12回全日本ジュニアチャンピオンシップ 空手道選手権大会 極真空手小学6年生男子軽量級	出 場
橋本あゆな	少林寺拳法兵庫福崎 スポーツ少年団 (福崎東中学校2年生)	2024年少林寺拳法全国大会inふじのくに 組演武中学生女子	出 場
小國侑香	少林寺拳法兵庫福崎 スポーツ少年団	2024年少林寺拳法全国大会inふじのくに 組演武中学生女子	出 場
中原心弦	飛拳塾 (福崎西中学校2年生)	第42回オーブントーナメント全日本空手道 選手権大会 2024adidas KARATESEIDO GRAND PRIX 中学2年生男子重量級	出 場
志水皇介	飛拳塾	第42回オーブントーナメント全日本空手道	出 場

	(福崎西中学校1年生)	選手権大会 2024adidas KARATESEIDO GRAND PRIX 中学1年生男子軽量級	
廣岡凌空	兵庫加古川ヤング (福崎東中学校3年生)	第32回ヤングリーグ選手権大会 アルイン コカップ争奪敬愛まちづくり財団旗争奪 supported by エイジエック 中学生硬式野球	優勝
山本紗亜弥	琴丘高等学校3年生	令和6年度全国高等学校総合体育大会アーチ エリー競技大会高円宮賜牌 第57回全国高 等学校アーチエリー選手権大会 女子団体戦	出場
岡本和奈	姫路西高等学校3年生	2024年度全国高等学校総合体育大会水泳競技 大会 第92回日本高等学校選手権水泳競技 大会 女子800m自由形	出場
小笠原伶奈	兵庫県テコンドー協 会姫路支部 (甲南大学4年生)	第18回全日本テコンドー選手権大会 キヨルギ女子62kg級	第3位
友宗沙彩	倉敷高等学校2年生	女子第36回全国高等学校駅伝競走大会	出場
神戸医療未来大学男子バスケットボール部		第76回全日本大学バスケットボール選手権大会	出場

□効果・達成

スポーツ推進委員の資質向上・生涯スポーツ活動の情報入手等により、福崎町の生涯スポーツ普及発展に成果をあげました。健康セミナーを3回開催し、日常生活の中に運動を取り入れるための普及活動を推進しました。

スポーツ功績賞の表彰により、多様なスポーツ種目において全国で活躍する選手が増え、他の選手の励みになりました。

□課題・改善

スポーツ健康分野において、スポーツ推進委員の能力を生かし活発な活動を続けていきます。また、体育普及員と協力し、地域における健康増進活動を活発に進めます。

(単位:円)

予算額	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
1,750,000	1,672,626				1,672,626

事業名／町スポーツ協会等育成事業

総合計画**基本計画-施策の構成		
まちづくりの柱《章》	施 策	町の取り組み
Ⅱ 学びを充実し文化を育むまちづくり	7 スポーツ・レクリエーション	①スポーツを楽しむことができる環境づくり
総 ◆ 取組内容	スポーツ団体や地域団体、学校との連携	スポーツを楽しむことができる環境づくり

◆事業内容(目的・必要性)

福崎町スポーツ協会・福崎町スポーツ少年団の育成強化のため、財政的な補助を行いました。

◆事業の成果

スポーツ協会が主催する大会・教室で参加者への負担軽減、また備品購入の補助を行い、円滑な運営ができました。また、スポーツ少年団への補助を行い、青少年の体力・競技力向上に成果をあげました。

■福崎町スポーツ協会加盟団体一覧

R 7. 3. 31現在

団体名	会長名	会員数(人)	団体名	会長名	会員数(人)
庭球協会	宮崎俊昭	15	卓球協会	高松繁樹	15
陸上競技協会	岩崎文治	27	バレー・ボーラ協会	松山濫久	13
少林寺拳法協会	生田久人	25	水泳協会	三輪和幸	20
柔道協会	難波弘一	22	山の会協会	楠田道廣	30
合氣道協会	羽室研二	21	ソフトボーラ協会	三輪一朝	156
ソフトバレー・ボーラ協会	米田泉	40	グラウンドゴルフ協会	中安尚紀	143
剣道協会	大西崇博	15	ゴルフ協会	三森真一郎	4
			合計		546

■福崎町スポーツ協会決算書

収入			支出		
項目	金額(円)	備考	項目	金額(円)	備考
会費	28,000	加盟協会から @2,000×14	事業費	1,602,500	加盟協会助成金他
補助金	1,544,000	町補助金	事務費	22,475	事務用品他
繰越金	255,800	前年度繰越	基金費	0	50周年記念事業積立金
繰入金	0	50周年記念事業	予備費	0	
雑入	354,782	利息、補助金返還金	補助金返還金	346,000	4団体
合計	2,182,582		合計	1,970,975	

収入支出差引額 211,607円(令和7年度に繰越)

■福崎町スポーツ少年団決算書

収入			支出		
項目	金額(円)	備考	項目	金額(円)	備考
会費	73,200	加盟団から @1,000×73人 @200×1人	登録費	67,900	県登録料他
補助金	105,000	町補助金	事業費	150,000	大会補助金他
繰越金	94,081	前年度繰越金	事務費	1,400	郵便料他
雑入	28	利息	会議費	0	
合計	272,309		慶弔費	0	
			予備費	0	
			合計	219,300	

収入支出差引額 53,009円 (令和7年度に繰越)

□効果・達成度

競技スポーツのみならず、ニュースポーツを含む14協会と多くのスポーツ種目が活動し、町民のスポーツ活動の活性化に寄与しました。

□課題・改善

子どものスポーツ離れ・指導者不足等が課題となっています。スポーツ少年団や総合型地域スポーツクラブと連携して、スポーツ拠点を増やし、多くの人がスポーツ活動を行うことができるよう努めます。

(単位：円)

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般 財 源
1, 649, 000	1, 303, 000				1, 303, 000

事業名／子ども会運営事業

総合計画**基本計画-施策の構成		
まちづくりの柱《章》	施 策	町の取り組み
Ⅱ 学びを充実し文化を育むまちづくり	② 地域と連携した教育	②青少年の健全育成
総 ◆ 取 組 内 容	青少年の成長の支援	

◆事業内容(目的・必要性)

子どもたちの福祉増進、子ども会の自主的な活動の充実と町内子ども会相互の連携を目的としています。

◆事業の成果

□効果・達成度

子どもたちの健全な身体と協調精神の向上を目的として、町球技大会を実施しました。

また、子どもたちの情操教育の一環として、思考力、判断力、決断力のかん養を図る目的で、町少年少女将棋大会を開催しました。郡オセロ大会は中止しました。

◆事業の成果

■町球技大会：6月15日 場所：田原小学校

部門	優勝	準優勝	3位
ソフトボール	西治・西谷	山崎	駅前
バレーボール	山崎	西光寺	駅前

ソフトボールは5チーム、バレーボールは3チームの出場となりました。

■町少年少女将棋大会：12月1日 場所：福崎町文化センター

参加者

小学校低学年の部	10人
小学校高学年の部	6人

■郡オセロ大会

8月31日に福崎町文化センターで実施する予定でしたが、台風による悪天候のため中止しました。

□効果・達成度

各大会を通して子どもたちの精神的な向上を図るとともに、子ども同士の交流を促進することができました。

□課題・改善

子ども会活動が円滑に実施できるよう、啓発等の準備を進めます。また、今後に向けて多くの子ども会会員が参加できる事業について協議します。

(単位：円)

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般 財 源
1, 469, 000	1, 343, 212				1, 343, 212

1次評価：A

項	目	予算現額	支出済額	不 用 額
5. 保健体育費	2. 給食運営費	246,817,000 円	246,059,199 円	757,801 円

学校給食のねらいは、毎日を健康でいきいきと生活できるようにするために、食事、運動、休養の調和のとれた生活習慣を身につけることの大切さを伝えることにあります。また、成長期にある児童生徒の心身の健全な発達のために、バランスのとれた栄養豊かな食事を提供することにより、健康増進・体力の向上を図ることはもちろんのこと、正しい食事のあり方や望ましい食習慣を身につけ、好ましい人間関係を育てるなど多様で豊かな教育的な役割も担っています。

給食センターでは「福崎町すこやかヘルスプラン」に基づき、生涯にわたって健康で充実した生活を送るための基礎を培う健康教育の一環として、地場産物の活用を推進し、学校給食を生きた教材として活用した食育に取り組みました。

エネルギー・食糧品価格等の物価高騰の影響を受けた小中学校、認定こども園に通学、通園する子の保護者を支援するため、令和6年4月から6か月分、学校給食費等の無償化を実施しました。

給食運営に要した主な支出は、職員及び会計年度任用職員にかかる人件費、燃料費、光熱水費、修繕料、賄材料費、委託料、使用料及び賃借料、備品購入費等です。

事業名／給食センター管理事業

◆事業内容(目的・必要性)

平成30年4月から調理・配達業務の民間委託を実施し、学校給食運営の合理化を図っています。

給食の試食会を6回（延人数137人）受入れました。

施設は築後21年が経過し、耐用年数や部品供給の観点から設備の更新を行いました。

給食費の滞納問題については、滞納整理対策委員会で関係課職員が情報を共有し、教育委員会・学校等関係機関の連携・協力により、滞納額の減少に努めました。

◆事業の成果

■収入状況 (単位：円)

年度	区分	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	徴収率(%)
令和6年度	現年度	53,651,659	53,517,193	0	134,466	99.7
	過年度	662,275	298,053	0	364,222	45.0
	計	54,313,934	53,815,246	0	498,688	99.1
令和5年度	現年度	47,326,690	47,249,022	0	77,668	99.8
	過年度	1,034,222	449,615	0	584,607	43.5
	計	48,360,912	47,698,637	0	662,275	98.6

このほか、私立認定こども園から給食事業諸経費納付金（給食にかかる電気代・水道代・消耗品費）として、596,000円を収入しました。

■支出状況

平成15年6月の供用開始から21年が経過し、厨房機器等の耐用年数や部品供給の観点から修繕、交換または更新を行いました。

■学校給食費 調定額及び収入状況 (R 7. 5. 31現在)

(単位:円)

学校または施設名	調定額		収入済額		不納欠損額		収入未済額	
	現年度	過年度	現年度	過年度	現年度	過年度	現年度	過年度
福崎小	9,838,809	33,565	9,798,345	27,762	0	0	40,464	5,803
高岡小	1,416,078	113,248	1,400,814	113,248	0	0	15,264	0
田原小	11,317,801	28,600	11,286,505	4,200	0	0	31,296	24,400
八千種小	3,273,179	0	3,258,171	0	0	0	15,008	0
計	25,845,867	175,413	25,743,835	145,210	0	0	102,032	30,203
福崎西中	7,053,469	430,785	7,044,763	113,766	0	0	8,706	317,019
福崎東中	8,635,128	56,077	8,611,400	39,077		0	23,728	17,000
計	15,688,597	486,862	15,656,163	152,843	0	0	32,434	334,019
福崎幼	2,076,545	0	2,076,545	0	0	0	0	0
高岡幼	353,551	0	353,551	0	0	0	0	0
田原幼	3,228,591	0	3,228,591	0	0	0	0	0
八千種幼	1,290,424	0	1,290,424	0	0	0	0	0
計	6,949,111	0	6,949,111	0	0	0	0	0
給食センター職員	597,393	0	597,393	0	0	0	0	0
私立こども園	4,570,691	0	4,570,691	0	0	0	0	0
計	5,168,084	0	5,168,084	0	0	0	0	0
合計	53,651,659	662,275	53,517,193	298,053	0	0	134,466	364,222

□効果・達成度

現年度給食費の徴収率は、令和5年度から0.1ポイント減の99.7%、過年度給食費の徴収率は、令和5年度から1.5ポイント増の45.0%となりました。また、現年度・過年度あわせて徴収率は99.1%でした。

□課題・改善

今後、給食費の現年度分をできるだけ滞納繰越にしないように早めの対策を講じるとともに、過年度滞納分についても徴収体制の確立、法的措置の実施により徴収率の向上につなげます。厨房機器等の更新も計画的に実施します。

(単位:円)

予算額	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
29,714,000	29,155,959				29,155,959

事業名／給食センター給食事業

総合計画**基本計画-施策の構成		
まちづくりの柱《章》	施 策	町の取り組み
Ⅲ 誰もが健やかに暮らせるまちづくり	2 健康づくりの推進	②食育の推進
総◆取組内容	食育や地産地消の推進	

◆事業内容(目的・必要性)

学校給食に使用する食材発注に際しては、産地確認や情報収集をしっかりと行い、厳選した食材で調理し、安全安心な給食の提供に努めました。主に野菜は地元産を、魚・肉は県内産を優先して使用し、年中行事等に合わせた献立や果物、デザート等から季節を感じてもらえるように工夫しました。特に生活習慣病の予防にも大切な「豆・ごま・海藻・野菜・魚・きのこ類・いも類」を献立に多く取り入れ、「福崎町すこやかヘルスプラン」に基づき、安全安心な地域の食材をできるだけ多く給食に取り入れました。また、福崎町の特産物である「もち麦」に親しみ、家庭でも活用してもらえるように、給食においても、もちむぎ精麦やもちむぎ麺を使用した献立を取り入れました。そうした福崎町の給食をPRするために、毎月発行する給食だより等の中で詳しく紹介し、児童・生徒及びその家庭に伝えました。

栄養教諭が小・中学校を訪問し食育指導を行い、また、給食センターと保健センターで共同して各認定こども園を訪問し食育教室を開催するほか、給食センター施設見学会を実施するなど食育に取り組みました。

1日平均給食供給人員は2,228人で給食延べ人員は、450,552人でした。給食日数は、小学校年間180日、中学校年間177日、認定こども園（1号認定）年間180日、（2号認定土曜日保育無）年間230日、（2号認定土曜日保育有）年間268日、（3号認定）年間268日です。

平成30年度から調理・配達業務を民間委託し、学校給食運営の合理化を図っています。

■給食センター給食事業での主な支出は、給食原材料費で114,346,177円です。

給食原材料費内訳

(単位：円)

	金額
副食費	69,482,687
米飯代	17,895,141
パン代	5,958,413
牛乳代	21,009,936
計	114,346,177

■地産地消の取り組み

・「福崎町すこやかヘルスプラン」の中の「地産地消の推進」に基づき、給食センターでは、学校給食における地元野菜（米含む）目標地産地消率（重量ベース）を55%と定めており、令和6年度の地産地消率は40.4%と令和5年度から3.0ポイント減となりました。主な理由は納品業者（生産者）の減少と品目の減少、天候不順や鳥獣被害により収穫量が減り、給食センターへの納品が減ったためと考えられます。

・農林振興課と連携し生産者の協力を得ながら開発した地元産じゃがいもと玉ねぎを使用した「じゃがいもコロッケ」や地元産さつまいもを使用した「さつまいもコロッケ」を令和6年度も給食に提供しました。また、地元産大豆で作られた「手作りみそ」を使用したみそ汁も提供しました。

・毎月19日の食育の日献立では、できるだけ多くの地元産野菜を利用するようにしました。もちむぎ精麦を8%ブレンドした「もちむぎご飯」や、もちむぎ精麦を使用した「マーボー豆腐」、もちむぎ麺を使用した「かやくもちむぎ麺」や「もちむぎそうめん汁」、「冷やしもちむぎ麺」や「もちむぎ麺サラダ」などを提供しました。

■町外通園通学児童生徒給食費補助事業

子育て世帯の経済的負担を軽減するため、町内に住所を有し、町外の小中学校、認定こども園等に通園通学する児童等の保護者が負担する学校給食費等を補助しました。補助金交付人数は47人で、補助金

額は1,026,009円です。

□効果・達成度

給食にもち麦や地元野菜を取り入れ、児童・生徒等に親しみをもってもらうよう食育指導等でその良さを伝えました。また、毎月、町のホームページに給食献立表及び給食物資の産地情報を掲載して、食の安全性を啓発しました。

□課題・改善

今後も地元生産者等との連絡を密にし、ほ場巡回をしながら、野菜の収穫時期に合わせた献立計画を作成して、できるだけ給食に地元産の野菜を取り入れるよう努めます。

(単位:円)

予算額	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
206,904,000	206,766,021	41,522,000		62,411,246	102,832,775

1次評価: B

項	目	予算現額	支出済額	不 用 額
5. 保 健 体 育 費	3. 町民グラウンド 管 理 費	69,130,000 円	64,220,951 円	4,909,049 円

町民グラウンドは、町民が生涯を通して健康で充実した生きがいのある生活を送るために、町民の健康づくりとスポーツ活動を行う生涯スポーツの場として利用されました。

事業名／町民第1、第2グラウンド管理事業

◆事業内容(目的・必要性)

町民第1、第2グラウンドを安全・快適に利用していただくため、施設修繕・点検・清掃等を実施しました。

◆事業の成果

■施設修繕等を行い、スポーツがより快適に活動できる場を提供しました。

- ・第1グラウンド 防犯灯器具等取替工事 244,200円 (請負業者:高岡電工(株))
- ・第1グラウンド 防犯灯取替工事 93,500円 (請負業者:高岡電工(株))
- ・第2グラウンド トイレ配水管改修工事 198,000円 (請負業者:高岡電工(株))

■施設を安全に使用するために、点検・清掃等の委託を行いました。

- ・清掃委託料 202,272円 (請負業者:(公社)中播広域シルバー人材センター)
- ・電気設備管理委託料 118,800円 (請負業者:黒正電気設備管理事務所)
- ・草刈等委託料 51,456円 (請負業者:(公社)中播広域シルバー人材センター他)
- ・立木等伐採業務 438,900円 (請負業者:(有)シーエスシー)

□効果・達成度

第1グラウンドでは、防犯灯器具等取替工事、立木等伐採業務等を行い、より快適にスポーツ活動を行える環境に整備しました。第2グラウンドでは、グラウンドゴルフを中心とした利用がありました。また、トイレ配水管改修工事を行いました。令和6年度社会体育施設(町民グラウンド、スポーツ公園、体育館)利用者数は、118,286人と令和5年度に比べやや増加となりました。

□めざそう値

第5次総合計画めざそう値	R2	R3	R4	R5	R6	目標(R10)
社会体育施設利用者数 (町民グラウンド、スポーツ公園、体育館)	84,010	97,346	102,198	116,036	118,286	135,000

(第2期総合戦略アクションプランKPI：令和6年度目標140,000人)

□課題・改善

第1グラウンドは、改修工事を実施して以降、グラウンド内は利用者が安全で快適に利用できています。しかし、敷地周辺を含め、樹木の伐採や除草など管理面での課題は多々あります。第2グラウンドも含め、今後は施設の計画的な修繕及び効率的なグラウンド整備を進めます。

(単位：円)

予算額	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
4,350,000	4,087,386			959,290	3,128,096

事業名／スポーツ公園管理事業

◆事業内容(目的・必要性)

スポーツ公園を安全・快適に利用していただくため、施設修繕・点検・清掃等を実施しました。

◆事業の成果

■施設修繕や工事を行い、より快適にスポーツ活動ができる場を提供しました。

- ・スポーツ公園グラウンドスピーカー取替工事 185,240円 (請負業者：(株)パナハウスごとう電化)
- ・スポーツ公園夜間照明灯修繕工事 190,300円 (請負業者：高岡電工(株))
- ・スポーツ公園管理棟南側インターロッキング補修工事 454,740円 (請負業者：(株)セイトー)
- ・スポーツ公園テニスコートベンチ取替工事 1,045,000円 (請負業者：尾上組(有))
- ・スポーツ公園トイレ改修工事 403,700円 (請負業者：高岡電工(株))

■施設を安全に使用するために、点検・清掃等の委託を行いました。

- ・警備委託料 277,200円 (請負業者：セコム(株)加西営業所)
- ・芝生管理委託料 693,000円 (請負業者：宮下造園土木)
- ・電気設備管理委託料 132,000円 (請負業者：黒正電気設備管理事業所)
- ・清掃委託料 (第2体育館) 60,500円 (請負業者：東洋テック姫路(株))
- ・トイレ清掃委託料 346,425円 (請負業者：(公社)中播広域シルバーメンテナント)
- ・消防設備点検委託料 (第2体育館) 8,580円 (請負業者：神姫防災)
- ・スポーツ公園樹木等伐採委託業務 495,000円 (請負業者：日和堂 日和 隆)
- ・遊具等点検委託料 60,500円 (請負業者：吉田体機工業(株) 姫路営業所)
- ・スポーツトラクタ一点検査委託料 98,186円 (請負業者：東興産業(株))
- ・害虫駆除業務委託料 55,000円 (請負業者：(株)むし虫ハンター)

■施設を安全・快適に使用するため、備品を購入しました。

- ・備品購入費 硬式テニス用ネット2張 110,000円 (業者：(有)加西平和堂スポーツ)

□効果・達成度

多くの利用者に活動の場を提供することで、住民の体力向上・健康増進、併せて地域コミュニティの

育成に貢献することができました。

□課題・改善

ソフトボール場は表土が風雨による流出や飛散により、傷みが目立つたため、土の入れ替え、整備の必要があります。

(単位：円)

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源
8,122,000	7,723,215			3,006,080	4,717,135

事業名／町民第3グラウンド管理事業

総合計画**基本計画-施策の構成		
まちづくりの柱<章>	施 策	町の取り組み
V 誰もが安全で快適に暮らせるまちづくり	5.公園・緑地の整備	①うるおい空間の整備
総 ◆ 取組内容	誰もが安全で安心してすごせる空間の維持	自然活用の要素を取り入れた公園整備

◆事業内容(目的・必要性)

町民第3グラウンド（さるびあドーム、スケートボード場、遊具広場）を安全・快適に利用していただくため、施設修繕・点検・清掃等を実施しました。

◆事業の成果

■施設修繕や工事を行い、より便利に利用できるようになりました。

- ・第3グラウンド複合遊具修繕工事 286,550円 (請負業者：吉田体機工業(株))
- ・第3グラウンド遊具広場フェンス修繕工事 72,600円 (請負業者：播州道路施設(株))
- ・第3グラウンドスケート施設フラットレール修繕工事 41,800円 (請負業者：吉田体機工業(株))
- ・第3グラウンド法面改修工事 724,900円 (請負業者：藤澤工業(株))
- ・第3グラウンドスケートパーク改修工事 1,210,000円 (請負業者：尾上組(有))
- ・第3グラウンドトイレ改修工事 284,900円 (請負業者：高岡電工(株))

■施設を安全に使用するために、点検・清掃等の委託を行いました。

- ・警備委託料 138,600円 (請負業者：セコム(株)加西営業所)
- ・電気設備管理委託料 68,640円 (請負業者：黒正電気設備管理事務所)
- ・清掃委託料 294,000円 (請負業者：(公社)中播広域シルバー人材センター)
- ・消防設備点検委託料 19,800円 (請負業者：(株)消防装備)
- ・スケート施設・遊具等点検委託料 222,200円 (請負業者：吉田体機工業(株)姫路営業所)
- ・スポーツレイキ点検委託料 69,905円 (請負業者：東興産業(株))

□効果・達成度

さるびあドーム・スケートボード場・遊具広場は、幅広い世代が活動できる複合施設として、多くの利用者にレクリエーション活動の場を提供でき、住民の体力向上・健康増進、併せて地域コミュニティの形成に貢献できました。

□課題・改善

ドーム内グラウンドについては、定期的な散水に加え、スポーツトラクターでの整備に努めています。今後も引き続き効率的な整備方法を研究します。スケートボード場については、利用者が増えていますが、年長者のヘルメットの未着用が目立ちます。今後は、啓発・監視体制を検討し、安全で快適に利用

できるように努めます。

(単位:円)

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳			
		国 県 支 出 金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
5,355,000	5,088,350			3,593,410	1,494,940

事業名／スポーツ公園夜間照明改修事業【新規】

◆事業内容(目的・必要性)

スポーツ公園ソフトボール場は、平成2年に照明工事とともに整備され、その後防球ネットの設置を除けば大きな改修もなく、現在に至っています。現状の照度は、内野の平均が1,981x、最小が1,181xで、外野の平均が781x、最小が541xとなっており、外野の照度を向上させる必要がありました。加えて、設置から35年以上を経過し、照明制御盤・ケーブル等の劣化により漏電や感電の危険性が高まっており、特に降雨の後は通電の状態が著しく悪化し、いつショートするかわからない状況で利用していました。

◆事業の成果

■スポーツ振興くじ助成金を申請し、夜間照明設備改修工事を実施しました。

- ・スポーツ公園夜間照明設備改修工事 46,674,100円 (請負業者: (株)ヤマデン)
- ・スポーツ公園防球ネットLED投光器取付穴作成工事 53,900円 (請負業者: 高岡電工(株))
- ・スポーツ公園夜間照明設備改修工事実施設計業務委託料 297,000円 (請負業者: 橋本設計工房)
- ・スポーツ公園夜間照明設備改修工事監理業務委託料 297,000円 (請負業者: 橋本設計工房)

□効果・達成度

改修事業により、利用者が、安全かつ快適に競技ができ、LED化による省エネルギーや周辺民家への光害も改善されました。

(単位:円)

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳			
		国 県 支 出 金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
51,303,000	47,322,000		28,100,000	16,000,000	3,222,000

1次評価: B

項	目	予 算 現 額	支 出 濟 額	不 用 額
5. 保 健 体 育 費	4. 学 校 施 設 社 会 開 放 費	1,212,000円	1,174,357円	37,643円

生涯スポーツを推進するため、また、町民のスポーツの場を広げるため、学校施設の社会開放を行い、ナイター設備の維持に努めました。

事業名／学校施設社会開放事業

総合計画**基本計画-施策の構成		
まちづくりの柱《章》	施 策	町の取り組み
I ともに進める持続可能なまちづくり	1 多様な主体との協働の推進	②交流と連携の推進
総 ◆ 取 組 内 容	地域コミュニティの醸成	
II 学びを充実し文化を育むまちづくり	7 スポーツ・レクリエーション	①スポーツを楽しむことができる環境づくり
総 ◆ 取 組 内 容	施設の効率的な活用・運営	スポーツ団体や地域団体、学校との連携

◆事業内容(目的・必要性)

地域住民のスポーツ振興を図るため、町内の小・中学校の運動施設（体育館・グラウンド）の積極的な開放を実施しました。

◆事業の成果

■学校施設社会開放 学校別集計表

		福崎小	高岡小	田原小	八千種小	西 中	東 中	計
体 育 館	使用回数(回)	344	238	519	410	220	372	2,103
	使用人数(人)	6,868	3,145	12,911	10,872	5,055	6,618	45,469
	使用料(円)	83,820	51,770	129,030	229,060	77,890	103,330	674,900
グ ラ ウ ン ド	使用回数(回)	135	67	24	244	8	4	482
	使用人数(人)	3,355	1,470	1,575	6,682	520	810	14,412
	使用料(円)	4,400	0	6,600	193,050	7,700	3,300	215,050

□効果・達成度

町内外のスポーツクラブやサークル等の団体に対し、学校施設を開放することにより、地域に根付いた身近な生涯スポーツ・生涯学習活動の場と機会を提供しました。

スポーツクラブ4団体や各種団体のほか、一般の団体が継続的に利用しており、学校施設の開放事業が広く地域住民に浸透しています。このように、多くの団体に活動の場を提供することで、地域住民の体力向上・健康増進、併せて地域コミュニティの育成にも貢献することができました。

□課題・改善

学校行事に支障がないよう、学校とも十分連携をとって、適正な管理に努めます。

(単位：円)

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源
1,212,000	1,174,357			889,950	284,407

1次評価：B

項	目	予 算 現 額	支 出 濟 額	不 用 額
5. 保 健 体 育 費	5. 体育館運営費	13,187,000 円	12,446,684 円	740,316 円

生涯スポーツの拠点として各年代層にあったスポーツを選択できるよう、さまざまな教室・講習会を開催しました。また、小学生向けの行事を通して青少年の健全育成に努めました。

施設において、より安全で効率的なスポーツ活動の場を提供するために、設備の充実・整備を行いました。

事業名／町民体育館管理事業

総合計画**基本計画-施策の構成		
まちづくりの柱<章>	施 策	町の取り組み
II 学びを充実し文化を育むまちづくり 総 ◆ 取組内容	7 スポーツ・レクリエーション 既存施設の老朽化に伴う計画的な改修	①スポーツを楽しむことができる環境づくり
II 学びを充実し文化を育むまちづくり 総 創 ◆ 取組内容	7 スポーツ・レクリエーション 各種教室及びスポーツ・レクリエーションの活動推進	②ライフステージに応じたスポーツ・レクリエーションの推進

◆事業内容(目的・必要性)

第1体育館を安全かつ快適に利用していただくため、施設修繕・点検・清掃等を実施しました。近年、世代性別問わず誰もが参加できるニュースポーツの需要が高まっており、カローリングや囲碁ボールの講習会を実施しました。また、地域住民の体力向上・健康増進・地域コミュニティ・スポーツ振興を図るため、今後のスポーツ大会・教室等のプログラム向上について検討しました。

◆事業の成果

■施設修繕や工事を行い、より快適に施設利用ができる環境を整えました。

- ・第1体育館トレーニング機器修繕トータルヒップ他 54,670円
(請負業者：(有)加西平和堂スポーツ)
- ・第1体育館電気設備改修工事(2F) 106,700円 (請負業者：高岡電工(株))
- ・第1体育館電気設備改修工事(1F) 407,000円 (請負業者：高岡電工(株))
- ・第1体育館体育室ロールスクリーン設置工事 198,000円 (請負業者：(株)モリ)
- ・第1体育館トレーニング室空調機新設工事 2,829,200円 (請負業者：大樹設備工業(株)) 等

■施設を安全に使用するために、点検・清掃等の委託を行いました。

- ・年末清掃委託料 429,000円 (請負業者：(有)カワバタ商会)
- ・自動ドア保守点検委託料 50,600円
(請負業者：寺岡オート・ドアシステム(株))
- ・消防点検業務委託料 24,200円 (請負業者：(株)消防装備)
- ・トレーニング機器保守点検業務委託料 198,000円 (請負業者：(有)加西平和堂スポーツ)

*町民体育館利用人数

(単位：人)

年度	球技室	体育室	卓球室	トレーニング室	第2体育館	計
令和4年度	14,389	4,446	4,426	6,033	6,628	35,922
令和5年度	14,578	5,062	5,354	6,656	7,616	39,266
令和6年度	18,065	4,336	5,518	7,823	4,824	40,566

■各種大会・教室及び小学生対象の生活塾シリーズについては、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策前と同様にできる限り実施しました。

大会名	期日	場所	対象	参加者
子どもスポーツフェスティバル	4/13	第3グラウンド	町内小学生以上	17人
町民親善グラウンドゴルフ大会	5/11	第3グラウンド	誰でも可	36チーム
新緑ウォーキング	5/25	三木山森林公園	誰でも可	23人
ヴィッセル神戸サッカーレッスン	5/25	浄化センター 芝生広場	町内こども園児(年長)、小学生	28人
カヌー教室	6/30 8/11	野外活動センター	町内小学4年生～一般	10人 7人

AS ハリマアルビオンサッカ ー教室	7/13	第3グラウンド	町内こども園児(年長)、小学生	19人
ふれあいワンデー生活塾	7/21	野外活動センター	町内小学1~3年生 民生児童委員	29人
アウトドア生活塾	7/27	野外活動センター	町内小学4~6年生	18人
自治会親善ソフトボール大会	8/17~21	第1グラウンド他	自治会でチームを編成	28チーム
地域職域親善ソフトボール大会	11/17	第1グラウンド	町内在住勤者	7チーム
子ども遊びフェスティバル!	1/19	第1体育館	町内幼児園児以上及び保護者	160人

■スポーツ講習会を開催し、健康づくりや町民の体力維持増進に努めました。

講習会名	期日	場所	内容・対象	参加者
走って楽しく！スポーツ 大好き講習会	9/7	第3グラウンド	小林祐梨子走り方教室 町内小学生	41人
健康セミナー	7/6	第3グラウンド	モルック	7チーム 27人
	11/9	第1体育館体育 室	背骨コンディショニング	10人
	3/8	第1体育館球技 室	カローリング	73人

■健康・スポーツ教室を開催し、健康づくりやスポーツ活動の普及に努めました。

教室名	対象	曜日	時間	参加人数
はじめての筋トレ教室	誰でも可	第1水曜日	9:30~11:00	延べ17人
からだのびのび教室	誰でも可	火・金曜日	9:30~10:25	102人・100人
健康ソフトバレークラブⅠ	誰でも可	火曜日	10:30~11:45	26人
健康ソフトバレークラブⅡ	誰でも可	金曜日	10:30~11:45	22人
インデアカクラブ	誰でも可	木曜日	13:30~15:00	8人
いきいきストレッチ教室	誰でも可	火曜日	13:30~14:30	16人
ポールウォーキング教室	誰でも可	木曜日	9:30~11:00	41人

□効果・達成度

各種大会やその他講習会、健康・スポーツ教室を通じて、健康づくりや地域のコミュニケーションの場を提供することができ、また誰もが気軽に参加でき、多くの方の健康維持増進に努めました。

□課題・改善

行事や教室を催すにあたり、参加者が安全に楽しく参加できるよう運営形態や指導方法等に留意していきます。

参加数が減少している事業を検証し、運営の改善及び新たな行事の展開を検討していく必要があります。

(単位：円)

予算額	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
12,741,000	12,051,084	100,000		4,934,410	7,016,674

事業名／地域スポーツ奨励事業

◆事業内容(目的・必要性)

地域の健康づくり、コミュニケーションづくりを目的に、各種スポーツイベントの運営に係る経費の補助、地域スポーツクラブの活動に係る電気代及び施設使用料における経費の補助を行いました。

◆事業の成果

■スポーツクラブの活動に係る電気代として各学校に支払い、負担を軽減しました。

・福崎小学校へ 72,000円	・田原小学校へ 72,000円	・高岡小学校へ 43,200円
・八千種小学校へ 72,000円	・福崎東中学校へ 43,200円	・福崎西中学校へ 43,200円

■スポーツクラブ連合に50,000円の補助金を交付しました。

□効果・達成度

スポーツクラブを支援することにより、地元校区で気軽にスポーツをできる環境づくりができました。

□課題・改善

スポーツクラブの会員数が減少傾向にあります。町体育館と連携を深め、地域スポーツの活性化に努めます。

(単位：円)

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源
446,000	395,600				395,600

IV 学識経験者の意見

1. 就学前の子育て支援事業

- ① パブリックコメントの実施などにより住民意見を反映させ、病児保育等の就学前の子育てで困っておられる方に寄り添う支援がなされている点は、町の人口保持と少子化問題に直結するという視点で大変重要であり、高く評価する。今後も、対象となる児童や保護者に、より適切な支援をお願いする。
- ② 保育施策において、保護者の就労事情に合わせた対応がなされており、町外私立保育所への委託事業が福崎町に住み続けることのできる権利を担保することになり、子育て世代の定住促進に大きく貢献するものである。
- ③ 認定こども園では、児童が安全で快適な園生活を送れるように取り組まれている。更なる職員の業務負担軽減対応をされたうえで、今後も職員の確実な人員確保に努めていただきたい。
- ④ 延長保育や一時預かりなどの施策をしっかりと実施されている。保護者のニーズをさらに掘り起こし、充実を図ってほしい。
- ⑤ 園児送迎バスに安全システムを導入している点は、他地域での事故をふまえた危機管理意識の高さを示しており、保護者に大きな安心感を与えるものである。技術的な対策だけでなく、職員間の情報共有や緊急時の連携といったヒューマンエラーを防ぐ組織文化の醸成も不可欠である。さらに、安全性や危機管理の徹底を図り、引き続き事故のないようにお願いする。
- ⑥ 子育て支援施設について、親子が気軽に交流できる場の提供により多くの方が利用され、子育て相談件数も多く、保護者が相談しやすい環境が整えられていることは良いことである。子育て家庭が孤立し問題が大きくなる前の予防的支援として大きな価値があると考える。より広い情報提供により、気軽に利用していただけるよう取り組んでいただきたい。また、相談内容から見えてくる保護者の悩みを分析し、町民に広報、啓発する機会を充実させることも必要と考える。
- ⑦ 学童保育については、平日の利用に加え土曜日や長期休業中の利用など、児童や保護者にとって必要な居場所づくりに取り組まれている。

2. 教育委員会関係事業

- ① 教育委員会および事務局は、教育行政の中枢として、学校運営の管理、学校保健安全の推進、国際教育の導入など、福崎町の教育全体を支える重要な役割を果たされている。これからの福崎の教育に大切と感じることを示させていただく。
ア) 働き方改革と「聖職者」としての使命感のバランス
教育委員会における最も重要な基盤の一つが、教職員が健全に働き続けること

ができる環境づくりである。

イ) 国際教育推進事業の深化

国際教育推進事業は、グローバル化が進む社会で生きる子どもたちにとって不可欠な視点を提供するものである。

ウ) 学校保健安全事業の多角化

学校保健安全は、児童生徒のウェルビーイングの土台となる。

② 小中学校に複数の支援員が配置されているおかげで、児童・生徒により細かな指導ができると思う。今後も学校現場が必要とする人員の配置をお願いする。

③ ICT の充実をさらに図ってほしい。文部科学省は、高校において不登校支援として、リモートでの授業を一定の制限を設けて出席とみなすように通知を発出しており、全国的に多くの高校でリモート対応を検討・実施している。

小中学校においても、不登校支援、別室登校、行事の際などに対応されていることであるが、更なる柔軟な対応と支援を求める。

④ 小学校における英語担当教員の確保に苦慮しているところも多くあると聞く。外国語担当教員の確保に努めるとともに、そのような人材を町で発掘・育成する機会も必要ではないか。

⑤ 4泊5日の自然学校をしっかりと実施しておられる。ここでの体験が子どもの成長に大きく関係してくるので、引き続き4泊5日の自然学校を実施してもらいたい。

3. 学校関係事業

① 特別教室の空調設備工事、田原小学校の屋外トイレ洋式化工事などにより、児童・生徒が安全・快適に生活できる整備を実施していただいた。中学校では、さらにプールの環境整備やエレベーターの設置なども検討をお願いしたい。今後も児童・生徒が安全・快適に生活できる環境整備をお願いする。

② 支援の必要な児童・生徒に対して、より適切な支援をお願いする。

③ 学校の円滑な運営を支える管理事業や、安全・安心な教育環境を維持するための施設整備・補修、長寿命化改良に取り組まれていることは、危機管理と環境整備の融合、施設の多機能化と地域連携等、教育の基盤を確保する上で大変重要である。

④ 遠野市友好交流事業の継続は、児童の異文化理解や郷土愛の育成に資するすばらしい取組である。

⑤ それぞれの教育振興事業を通じて、生徒の学力向上、健全育成、多様な教育ニーズへの対応に尽力されている。今後は、非認知能力の育成と評価、及び多様性とインクルージョンの推進にも力を入れる必要性があると感じる。

4. 給食センター事業

- ① 原材料費などの高騰のため容易な事業ではないと思うが、保護者の負担が増えないような工夫・取組をしていただきたい。
- ② フードロスについて、給食ではよく問題になっており、関心がある。地産地消率や食材費についての報告だけでなく、フードロスの観点からも目標値や結果などを報告書に載せてはどうか。
- ③ 児童生徒の健康と食育を支える給食の安定的な提供と管理運営に、日々尽力されていることを深く尊重する。
- ④ 福崎町すこやかヘルスプランに基づき、単に栄養バランスの良い食事を提供するだけでなく、給食を通じて地域の食文化や農業への理解を深める「生きた教材」としての役割を強化されていると思う。天候不良や鳥獣被害など、供給が安定しない状況もある中で、生産者と連携され、きつまいもコロッケやもちむぎ精麦を利用したメニューを給食に取り入れられ、「食育の日」献立などの工夫がすばらしいと感じる。
- ⑤ 食物アレルギーへの個別対応の充実と衛生管理体制について、最新の知見に基づいたマニュアルの定期的な更新と職員研修で、保護者への情報公開と透明性を高めることが、食の安全・安心への信頼を確固たるものにすると思われる。

5. 社会教育事業

- ① 生涯学習の充実や家庭・地域の教育力向上、青少年健全育成などに向け、各事業で工夫した取組がされている。
- ② グローバル化が進む中で、特に外国籍住民の人権に対する意識高揚の取組は時宜を得た重要な施策として高く評価する。異なる文化を尊重、活かし合うことで、福崎町に新たな豊かさの創出を期待する視点は、多文化共生社会実現に向けた前向きな取組として期待される。

6. 芸術・文化事業

- ① 公民館、文化センター、エルデホールなどの施設を活用した町民に多様な学習機会、交流及び文化芸術に触れる機会の提供は、町民に豊かな精神生活と社会参加を促す上で重要であり、継続的な運営努力と取組が重要である。
また、エルデホールの自主公演事業など、福崎町の独自性や魅力を発信する文化事業を強化、「文化によるまちづくり」を推進することで、地域外からの注目と交流

がさらに促進されると思う。

- ② エルデホールでの催しを楽しみにしている方が多くおられるので、今後も一層の充実を期待し、同時に助成金の獲得にも努めて経済的なバックアップをしっかりと維持していただきたい。

7. 図書館事業

- ① 工夫した行事などにより利用者も増加傾向にある。今後もさらに多くの方に利用してもらえるような取組をお願いする。
- ② 近年、中高生の読書離れが著しいと言われているが、読書は文化的な生活に不可欠なものなので、中高生の読書離れ対策を重点的に行う必要があるのではないか。その対策によって、中高生のスマホ依存をある程度は抑える効果があるかもしれない。幼児向け・大人向けとは別に中高生向けのイベントや特集など取組を行ってはどうか。軌道に乗れば、貸出人数等にも大きな影響を与えるのではないか。
- ③ 図書館の管理・運営を通じて、町民への情報提供や読書活動の推進に努められていることは、情報リテラシーの向上と知的好奇心の醸成に極めて重要な教育活動であり、評価する。

8. 文化財事業

- ① 辻川界隈の画像などをテレビだけでなく、YouTube 等でもよく見かけるようになつた。それだけ文化財の活用と観光振興がうまくいっているのだと思う。施設の入場者数も伸びている。引き続き、整備に努めていただき、観光の拠点としてほしい。
- ② 福崎町の貴重な歴史的・文化的遺産である辻川界隈の文化財を適切に保護・管理され、柳田國男・松岡家記念館などの運営を通じて次世代に継承する役割を果たされていることは、町民のアイデンティティの形成に不可欠であり、高く評価する。さらに、貴重な文化財や発掘調査の記録を高精細なデジタルデータとして保存・公開、活用できる環境の整備が、文化財の学術的価値と永続的な保存に貢献する。
- ③ 埋蔵文化財発掘調査の成果や歴史的建造物を地域の小中学校の学習プログラムや観光コンテンツと有機的に連携させることで、地域学習への興味関心を高め、町の魅力向上に繋がると思われる。
- ④ 山桃忌式典、柳田國男検定や柳田國男ふるさと賞など、大人だけでなく、児童・生徒の調査や研究にも賞を贈られ、郷土に誇りを持つ顕彰事業に取り組まれていることはすばらしいことである。

9. 社会体育事業

- ① 青少年野外活動センターは、アウトドアブームもあり、利用者が増加傾向にある。今後も安全で快適な利用ができるよう整備をお願いしたい。
- ② 施設の安全管理のため、設備の点検・維持は引き続き念入りに行っていただきたい。害獣や有害昆虫等の対策も近年では重要になってきているので、特に念入りに行っていただきたい。
- ③ 学校部活動地域展開について、福崎町は現在、方針を策定中であり、課題も多いと思うが、多くの子どもたちが楽しく活動できる取組をお願いする。
- ④ 学校部活動地域展開の受け皿として、地域のスポーツ団体等の存在が一層重要ななると思われる。会員数を増やす工夫が必要ではないだろうか。また、選択肢を増やすことも必要と考える。
- ⑤ 福崎町民や出身者のスポーツでの活躍を表彰、健康保持増進の象徴とすることは町民全体の健康に関するウェルビーイングの実現に向けたすばらしい取組であり、評価する。
- ⑥ 町民グラウンドなどの各施設について詳細な振り返りがなされ、公平性や効率性を検討しつつ、利用者のニーズを丁寧に捉えた対応に努められていることは、評価する。また、健康寿命の延伸に向けた高齢者向けの運動プログラムの充実や若い世代への事業開拓の両面を検討されている点は重要である。さらに、障がい者スポーツへの理解促進と環境整備にも取り組まれ、多世代・多様なスポーツ活動への対応とスポーツの機会均等を推進されていると思う。
- ⑦ 学校施設のスポーツクラブや一般クラブへの開放は、さまざまな課題があると思われるが、地域住民への効率的な還元であり、その継続的な取組は地域社会の活性化に貢献するものとして評価する。
- ⑧ スポーツ団体への支援の拡充、広報や啓発を工夫し会員の確保に努めてほしい。
- ⑨ スポーツ公園の夜間照明設備改修工事が実施された。多くの方に安全に利用していただけるよう啓発していただきたい。

令和7年11月

福崎町教育委員会事務事業評価委員（敬称略）

神戸医療未来大学教授 野 本 玲 子

兵庫県立播磨福崎高等学校・兵庫県立福崎高等学校校長 藤 原 良 光

住 民 代 表 上 田 稔 郎

V 參考資料

「志」をみんなで育む 福崎の教育

～ こどもの心に 「灯」をともす 学校教育

町民みんなの 学びたいことが学べる 社会教育 ～

<努力目標>

1 就学前保育・教育の充実

- 1) 豊かな感性を育てる「環境づくり」「なかまづくり」に努める。
- 2) 個性を尊重し社会的自立の基礎づくりに努める。
- 3) 「福崎町第2期子ども・子育て支援事業計画（中間改訂版）」を推進する。
- 4) 安心安全な保育・教育に努め、虐待の早期発見・事故の適切な初期対応に努める。
- 5) 不審者侵入を含めた危機管理意識をさらに高める。

2 学校教育の充実

- 1) 「いのち」の教育

- ① すべての命のかけがえのなさと畏敬の念を育む。
 - ② 危機管理意識のさらなる向上に努め、学校防災体制を充実する。
- 2) こころ豊かな人間性と自立する人づくり

- ① 人格の完成をめざし、個性を尊重した取組に努める。
 - ② 日々の地道な実践の積み重ねに努め、教育環境の整美・充実に努める。
 - ③ 教職員には、教育実践の「流行」よりも「不易」を伝えていきたい。

- 3) 学力保障・進路保障

- ① 「わかる授業」を基本にする。
 - ア) 各教科指導において、各教科を好きにさせる。
 - イ) 指導方法及び教具の活用を工夫するなど、自己の指導力を高める。
 - ウ) さらに「福咲学力アップタイム」を充実する。
 - エ) 通級指導をはじめ、個に応じた教育的配慮のもと指導に努める。
 - オ) 町立図書館とも連携し、読書意欲と読書習慣の定着を工夫する。
 - ② I C T 教育、外国語教育、道徳教育の充実に引き続き努める。
 - ③ 仲間づくりを重視し、夢や希望を大切にする気持ちと意欲を醸成する。
 - ④ 「ふるさと 福崎」「我が母校」を愛する児童生徒を育む。

4) 特別支援教育

- ① 一人ひとりの教育的ニーズに応じた支援体制の構築及び合理的配慮の提供に努める。
- ② 組織的なインクルーシブ教育を推進する。
- ③ 児童生徒と保護者の「思い」「願い」に寄り添い、共通理解のもとに実践する。
- ④ 特別支援教育コーディネーターを中心に進める。

5) 人間的なふれあいによる生徒指導

- ① 学級や学校で疎外されがちな子やくらしに課題がある児童生徒を中心にすえ、ひとりの「いたみ」や「つらさ」をみんなで共有・共感し、ともに明るい展望が持てる仲間づくりに努める。
- ② いじめの未然防止の取組は、「特別の教科 道徳」を要として、全ての教育活動を通して充実を図る。
- ③ 児童生徒の生育歴や家庭環境に配慮した理解に努める。
- ④ 学校園の課題の発生時、教育委員会は積極的に指導・助言にあたる。
- ⑤ いじめ・不登校に対して、仲間や関係機関との連携・協力により課題解決に取り組む。
 - ア) 不登校指導は、個々の児童生徒の状況を適切に把握し、個に応じた多様な教育的配慮のもと、支援を推進する。
 - イ) それぞれの居場所づくりを工夫する。
 - ウ) 校内の「教育相談」活動を形骸化しない。
 - エ) 児童生徒及び保護者の悩みや思いを親身に受け止められる学校風土を構築する。
- ⑥ 校長のリーダーシップのもと、全教職員による組織的な指導を行う。
- ⑦ 福崎町の不登校指導員、学習支援員、不登校担当者とも連携する。
- ⑧ S O S の出し方（技能・スキル）についての知識・技能を指導する。
- ⑨ 校則の見直し、制服の見直しに引き続き取り組む。

6) 体験活動

- ① 充実感・達成感及び所属感や自己有用感を高める体験活動を目標に行う。
- ② 後伸びにつながるよう工夫する。

7) 人権教育

- ① 日々の学校生活のなかで、人権意識が尊重される人権文化を構築する。
- ② 生活面・学習面での配慮や支援を要する児童生徒への積極的な支援する。
- ③ 現実に学ぶ姿勢の人権教育を行う。
- ④ ヤングケアラーと児童虐待の早期発見・早期対応に努める。
- ⑤ 情報モラル・セキュリティ意識の醸成に努めながら、情報活用能力を育成する。
- ⑥ 同和問題をはじめ、女性、子ども、高齢者、障害者、外国人、性的少数者など人権にかかわる今日的な課題の解決に努める。
- ⑦ 生命の尊厳を第一に、教育の主体性、中立性を堅持する。
- ⑧ S D G s の視点を尊重した実践等、教職員自身の人権意識の向上に努める。

8) 食教育

- ① 生涯を通した健全な食生活の基礎づくりとして、健康への関心、食文化の継承、自らの食について考える習慣、食に関する知識、食を選択する判断力を育成する。
- ② 地元産の食材、「旬の食材」利用に努める。
- ③ 学校栄養教諭等による食教育の充実と安全・安心な学校給食の提供に努める。
- ④ 給食の残飯量を減らす取組を継続する。

9) 放課後児童クラブ（学童保育園、放課後子ども教室）

- ① 学童保育園内の環境整美と改善に留意し、安全確保を最優先する。
- ② 保護者との情報交換等の連携に努める。
- ③ 定期的な学童保育園長会等により、指導員の資質能力の向上に努める。

10) 業務改善

- ① 「業務改善」本来のねらいに留意する。
- ② 業務改善の名のもと、児童生徒や保護者への関わりや「思い」を疎にしない。
- ③ 管理職と主幹教諭を中心に、教職員の指導力と組織力を高める。
- ④ 教職員の「変形労働時間制」の効果的運用を研究する。

3 家庭の教育力

1) 各校の実態に応じた家庭教育学級（小学校・中学校）の実施

- ① 子育てについて、保護者の「願い」「思い」や今日的に学ぶ必要のある課題に対応した内容になるよう工夫する。
- ② 家庭へ積極的に情報を提供し、学校と子育て情報や課題を共有し連携して取り組む。

2) 家庭教育の重要性についての継続した啓発

3) PTA活動を活性化するため、組織の再編・活動内容等の工夫

4 社会教育・地域の教育力

1) 部活動の地域移行（地域部活動）協議会の活動の推進

2) コミュニティースクールの導入についての研究と推進

3) 青少年の健全育成

- ① 地域住民の青少年健全育成意識や協力体制を醸成する。
- ② 「地域の子どもは地域で育てる」環境づくりと犯罪への抑止力に継続して取り組む。
- ③ 積極的に地域内の関係団体や関係機関と連携する。

4) 地域住民の幅広い参画

青少年補導委員会、防犯指導委員会、消防団、地域教育推進委員会（県民交流広場）、各スクールヘルパー及びP T C A活動等と連携する。

5) 学校支援地域本部事業

- ① 地域の教育力を「学校教育」に活かす取組を進める。
- ② 学校支援者が自らの「生き方」につながる活動を創造する。

5 社会教育・生涯学習

1) 郷土への愛着と誇りをもつ児童生徒の育成

- ① 二人の名誉町民（柳田國男先生・吉讃雅夫先生）の顕彰を一步進め、氏の業績のさらなる発信に努める。
- ② 「柳田國男ふるさと賞」「吉讃雅夫科学賞」を継続する。
- ③ 柳田國男先生ゆかりの岩手県遠野市との友好都市児童交流事業を継続する。
- ④ 「ふるさと学習」の指導に対するカリキュラムづくりを検討する。

2) 文化・芸術活動（図書館、エルデホール）

- ① 図書館の蔵書を充実させ、快適で安全な利用しやすい図書館運営に努める。
- ② 「福崎町子どもの読書活動推進計画（第2次）」に基づき推進する。
- ③ 図書館応援隊を支援し、ともに特色ある図書館活動に努める。
- ④ 図書館の町内在住者の利用を増やすため、大人向けイベントを継続して取り組む。
- ⑤ 蔵書構成の見直しやギャラリーの有効活用による図書館利用を推進する。
- ⑥ エルデホールの自主事業は、内容と情報発信を工夫する。また、住民企画事業の企画づくりを工夫する。

3) 地域の歴史文化遺産の掘り起こし・保存・活用

- ① 地域の歴史文化遺産及びその周囲を含め総合的に把握し活用するため、福崎町文化財保存活用地域計画に基づき推進する。
- ② 神戸大学大学院人文学研究科地域連携センターとの共同研究を引き続き実施し、地域の歴史文化遺産の掘り起こしに努める。

4) 柳田國男・松岡家記念館、歴史民俗資料館、大庄屋三木家住宅

- ① 文化ゾーンの軸として、多くの人から愛され親しまれる施設となるよう文化財の保存・活用を推進する。
- ② 柳田國男・松岡家記念館では、松岡五兄弟の顕彰に努める。
- ③ 歴史民俗資料館は、郷土の歴史・文化に関する資料収集・保存・展示に工夫を加え、より深く継続的に活動するとともに、柳田國男・松岡家記念館と連携し、一体の運営に努める。
- ④ 「特別展」「企画展」をさらに工夫する。
- ⑤ 11回目を迎える「柳田國男検定」は、初級・中級・上級試験を実施する。
- ⑥ 第45回山桃忌は、8月3日（土）と8月4日（日）に開催する。
- ⑦ 多くの人が、「民俗学」を身近なものとして捉えられるよう啓発を工夫する。
- ⑧ 大庄屋三木家住宅では多くの人に親しみを持ってもらうための資料整理・展示・公開等を継続的に実施する。
- ⑨ 三木家資料収蔵のための収蔵施設兼展示場の効果的な活用を行う。
- ⑩ 「連続講座」や広報活動を工夫し、住民の埋蔵文化財への関心を広く醸成する。

5) スポーツ・レクリエーション活動

- ① 町民の体力向上に引き続き工夫して取り組む。
- ② 多くの人が利用しやすい社会体育、野外活動などの環境づくりを推進する。
- ③ スポーツ指導体制を充実し、普及活動の充実、既存団体との連携・発展に努める。
- ④ 総合型地域スポーツクラブとの連携に努める。
- ⑤ 青少年野外活動センターの環境整備と広報活動を工夫し、利用促進に取り組む。

6) 公民館活動

- ① 生きがいを高め、参加しやすく魅力ある活動にするよう運営を工夫する。
- ③ 学習成果を地域にいかす取組となるよう工夫する。
- ④ 多様な学習機会を提供し、各種講座、教室等の内容のさらなる充実に努める。
- ⑤ 若年世代の参加を図るため工夫する。
- ⑥ 老人大学のさらなる充実に努める。引き続き、新設した学部の効果的な運営に努める。
- ⑦ 文化協会と公民館クラブのあり方を再検討する。

7) 人権に関する学習

- ① 一人ひとりの人権が尊重され、心と心が豊かにつながる「地域づくり」に努める。
- ② 自治会研修会の工夫と活性化に引き続き努める。
- ③ 男女共同参画基本計画に基づき、個性と能力を發揮できる男女共同参画社会の実現に努める。

6 教育委員会制度

- 1) 「開かれた教育委員会」に引き続き努める。
- 2) 「総合教育会議」等で町長部局との連携を強め、さらによりよい教育行政に努める。
- 3) 所管施設の現状と利用者の要望等を認識するために、定期的・臨時的に所属長との面談や施設の現場視察に努める。
- 4) 会議録の表記法等を分かりやすく、かつ効果的になるよう引き続き工夫する。
- 5) 教育的課題の取組に対して、先進地の視察など教育委員の研鑽・研修に努める。
- 6) 兵庫県教育委員会とも連携を取りながら、必要に応じて要望・要求活動を行う。
- 7) 定例の教育委員会のより効果的なあり方を工夫する。
- 8) 神崎郡教育委員会連絡協議会とのさらなる連携と情報交換に努める。
- 9) 福崎町内すべての子ども・職員・教職員が元気に活動できる教育環境づくりに努める。

福崎町教育委員会事務事業評価委員設置要綱

(目的)

第1条 福崎町教育委員会は、効果的な教育行政の推進を図ると共に、住民への説明責任を果たしていくため、教育委員会が事務の管理・執行状況について点検・評価を行い、その結果の報告書を議会に提出し、公表するものとする。なお、点検・評価を行う際、学識経験者の知見の活用を図るため、福崎町教育委員会事務事業評価委員（以下「評価委員」という。）を置く。

(役割)

第2条 評価委員は、教育長の求めに応じ、教育委員会事務事業について意見を述べるものとする。

(定数)

第3条 評価委員の数は、3名程度とする。

(任期)

第4条 評価委員の任期は、1年とする。初年度は委嘱の日からその年度末までとする。なお、再任は妨げない。

- 2 評価委員に欠員が生じたときは、補充することができる。
- 3 評価委員は、特別の事情があるときは、その任期の途中で評価委員の委嘱を解くことができる。

(委嘱)

第5条 教育委員会は、委嘱状を交付する。

(教育委員会事務事業評価委員会)

第6条 教育長は、評価委員が意見交換するための教育委員会事務事業評価委員会（以下「委員会」という。）を設けることができる。

- 2 委員会は、教育長が招集する。
- 3 委員会は、関係職員等の出席を求めることができる。

(守秘義務)

第7条 評価委員は、職務上知り得た秘密を漏らしてはならない。その職を退いた後も、また同様とする。

(その他)

第8条 この要綱に定めるものの他、必要な事項は、別に定める。

附 則

この要綱は、平成21年7月10日から施行する。